平成 29 年度

学 校 要 覧
教 育 計 画

北海道寿都高等学校

北 海 道 教 育 の 基 本 理 念

自　立　　自然豊かな北の大地で、自立の精神にあふれ、夢や希望の実現に挑戦し、これからの社会を担う人を育む

共　生　　心豊かに、ともに支え合い、ふるさとに誇りを持つ人を育む

基本理念の実現に向けて

○社会で活きる実践的な力を育成します
○豊かな心と健やかな体を育成します
○信頼される学校づくりを推進します
○地域全体で子どもたちを守り育てる体制づくりを推進します
○北海道らしい生涯学習社会の実現をめざします

（平成 19 年 4 月制定）

北海道教育委員会

後 志 教 育 の 目 指 す 姿

心豊かに学び活力ある新しい時代の後志を創造する人を育む

豊かな心と学び続ける力をもつ人の育成　ゆとりと温もりのある学びの環境づくり
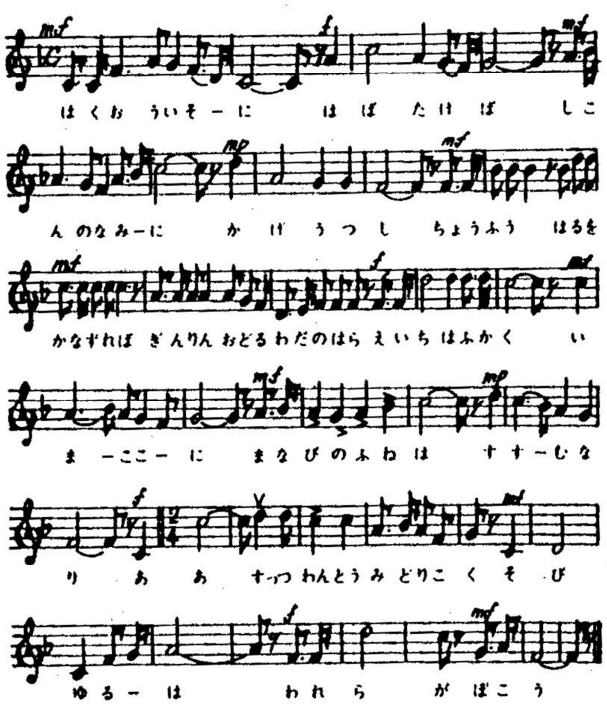
○一人ひとりが学び続けることのできるゆとりある社会をつくります
○家庭・学校・地域社会が連携・協力して豊かな心を育みます
○社会の変化にしなやかに対応できる人を育みます
○健康な生活ができるうるおいと温もりのある地域をつくります

北海道教育庁後志教育局

校　　歌

MM=♩=100～104
明るくおおらかに

作詞　田丸たけ志
作曲　松田　喜一



寿都高等学校校歌

作詞　田丸たけ志
作曲　松田　喜一

1．白鴎磯にはばたけば
紫紺の波に影映し
潮風春を奏ずれば
銀鱗踊るわだの原
叡智は深く今ここに
学びの船は進むなり
あああ寿都湾頭緑濃く
誉ゆるは我らが母校

2．銀漢清く風通う
母衣月山に月淡し
理想を高くかかげつつ
自由の鐘を鳴らさんと
平和の誓い今ここに
若き血潮のたぎるなり
あああ寿都湾頭星高く
栄ゆく我等が母校

3．雷電颪(おろし)荒(すさ)ぶとも
わが故郷はしけやし
高波岩を砕くごとき
朝な夕なに励みてに
我等友のもろともに
研鑽の道また愉し
あああ寿都湾頭雪白く
麗しき我等が母校

校　章　由　来

寿都の寿に、白鴎の羽根と錨を形どり、日本海の荒波に面した勇壮な寿都高校を表したもので、本校男子第一回卒業生佐藤信雄君の図案をもとに制作されたものです。

目　　次

ページ

1　学校の沿革
（1）沿革概要 …… 1
（2）学級数及び生徒数 …… 2
（3）卒業生数 …… 2

2　学校運営の基本方針 …… 2
（1）後志管内教育推進の重点 …… 2
（2）学校運営の基本方針 …… 3

3　教職員
（1）職員構成 …… 4
（2）職員一覧 …… 4

4　運営組織
（1）運営組織図 …… 5
（2）校務分掌 …… 6
（3）委員会・事務局等 …… 6
（4）学年・学級 …… 6
（5）各教科 …… 6
（6）災害予防組織及び各室管理責任者 …… 7
（7）自衛防災組織 …… 7

5　生徒会機構
（1）生徒会組織図 …… 8
（2）部活動・同好会一覧 …… 8

6　日課表 …… 8

7　生徒概況 …… 9

8　進路状況 …… 10

9　資格取得状況（平成 28 年度） …… 11

10　学校外の学修における単位認定（平成 28 年度） …… 11

11　教育課程表
（1）平成 29 年度入学者教育課程表 … …… 12
（2）平成 29 年度学年別教育課程表 …… 12

12　年間行事計画 …… 13

13　各部年間計画
（1）教　務　部 …… 15
（2）生徒指導部 …… 18
（3）進路指導部 …… 21

14　ボランティア活動計画 …… 24

15　各学年年間計画
（1）第１学年 …… 25
（2）第２学年 …… 26
（3）第３学年 …… 27

16　教科指導課題 …… 28

17　「総合的な学習の時間」全体計画 …… 29

18　「特別活動」全体計画 …… 30

19　年間ロングホームルーム計画 …… 31

20　「道徳教育」全体計画 …… 32

21　校内研修課題 …… 33

22　学校保健安全計画
（1）学校保健計画 …… 34
（2）学校安全計画 …… 35
（3）傷病発生時連絡体制 …… 36

23　防災計画 …… 37

24　関係団体役員
（1）ＰＴＡ …… 38
（2）白鴎会（同窓会） …… 38
（3）教育支援協議会 …… 38
（4）学校評議員 …… 38

25　校舎配置図・校舎平面図 …… 39

1　学校の沿革

（1）沿革概要

明治 35 年 12 月	佐々木珍竜師校主となり、私立寿都実業女学校創設
明治 41 年　7 月 11 日	町立寿都女子職業学校認可
昭和　2 年　1 月 13 日	甲種実業学校に昇格認可 小学校准教員、裁縫専科正教員、無試験検定の資格授与される
昭和　9 年　9 月　6 日	町立寿都高等家政女学校に校名変更
昭和 23 年　4 月　1 日	北海道寿都町立寿都高等学校に校名変更
昭和 24 年　4 月　1 日	予定校舎焼失のため一時道に移管。北海道八雲高等学校定時制として存続
昭和 25 年　3 月 31 日	再度町に移管。北海道寿都町立寿都高等学校（定時制併置）に校名復元
昭和 27 年　1 月 14 日	校舎新築移転
昭和 30 年　7 月 31 日	校舎増築
昭和 31 年　3 月 31 日	道立移管
昭和 39 年　4 月　1 日	１学級増、定時制募集停止
昭和 40 年　9 月 21 日	２教室増築
昭和 41 年　9 月 11 日	創立６５年道移管１０周年記念式典挙行
昭和 43 年　5 月 30 日	前庭ローン完成
昭和 53 年　2 月　4 日	学校火災により校舎ほぼ全焼（図書館・被服実習室棟を除く）
昭和 53 年　2 月　6 日	寿都小学校・中学校校舎を借用し授業を再開
昭和 53 年 12 月 26 日	校舎新築
昭和 55 年 12 月　7 日	創立８０周年並びに新校舎落成記念式典挙行
昭和 55 年 12 月 22 日	柔剣道場完成
昭和 60 年　9 月 12 日	前庭舗装完成
昭和 61 年　4 月　1 日	８学級（１学級減）
昭和 62 年　4 月　1 日	７学級（１学級減）
昭和 63 年　4 月　1 日	６学級（１学級減）
平成　3 年 12 月　7 日	プール完成
平成　4 年　1 月 10 日	パソコン２５台設置
平成　4 年　9 月　9 日	テニスコート完成
平成　4 年 10 月　3 日	創立９０周年記念式典挙行
平成　5 年　4 月 13 日	校庭に枝垂れ桜１６８本植樹
平成　9 年　2 月 17 日	体育館暖房改修工事完成
平成 10 年 12 月 15 日	校舎大規模改造工事（Ⅰ期）完成
平成 11 年　9 月 27 日	〃　（Ⅱ期）完成
平成 12 年　9 月 15 日	後志管内教育実践表彰受賞
平成 13 年 10 月 11 日	歩道点字ブロック敷設
平成 13 年 12 月 25 日	高尺ネットフェンスA60m新設
平成 14 年　1 月　7 日	リースパソコン４２台設置
平成 14 年 10 月 20 日	創立１００周年記念式典挙行
平成 15 年　2 月 27 日	高尺ネットフェンスB45.76m新設、バックネット 30.50m新設
平成 16 年　1 月　7 日	高尺ネットフェンス 47.07m完成
平成 16 年 11 月 25 日	下水道整備工事完成
平成 17 年　3 月 25 日	グラウンド整備工事完成
平成 18 年　4 月　1 日	「就職指導の改善に関する研究」指定校（文部科学省）
平成 20 年　4 月　1 日	５学級（１学級減）
平成 21 年　2 月 19 日	後志管内教育実践表彰受賞
平成 21 年　4 月　1 日	４学級（１学級減）、地域キャンパス校
平成 22 年　4 月　1 日	３学級（１学級減）
平成 22 年 10 月　7 日	千歳科学技術大学高大連携協定調印
平成 24 年　4 月　1 日	「英語力を強化する指導改善の取組」指定校（文部科学省）
平成 25 年　4 月　1 日	「英語によるｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ能力・論理的思考力を強化する指導改善の取組」 指定校（文部科学省）
平成 26 年　4 月　1 日	「北海道高等学校学力向上推進事業・土曜日授業調査研究」指定校（北海道）
平成 26 年　4 月　1 日～	「英語教育強化地域拠点事業研究校」指定校（文部科学省）
平成 27 年　4 月　1 日～	「小中高一貫ふるさとキャリア教育推進事業」指定校（北海道）
平成 28 年　4 月　1 日～	「ほっかいどう ICT 活用教育加速化事業（高校遠隔授業）」指定校（北海道）

（２）学級数及び生徒数（平成 29 年５月１日現在）

学　年	1	2	3	計
学級数	1	1	1	3
男	12	18	19	49
女	15	11	9	35
計	27	29	28	84

（３）卒業生数（平成 29 年３月 31 日現在）

校　　名	期　　間	男	女	計
私立寿都実業女学校	明治 39 年度まで		562	562
寿都町立女子職業学校	明治 43 年度より昭和 8 年度まで			
寿都高等家政女学校	昭和 9 年度より昭和 22 年度まで		453	453
北海道寿都高等学校	昭和 23 年度より平成 28 年度まで	2,815	2,865	5,680
総　　計		2,815	3,880	6,695

２　学校運営の基本方針

（１）後志管内教育推進の重点（北海道教育庁後志教育局）

Ⅰ　社会で活きる実践的な力の育成

○確かな学力の育成
○学校の教育活動全体を通じた体系的なキャリア教育の推進
○今日的な課題に対応した教育の推進
○特別支援教育の推進

Ⅱ　豊かな心と健やかな身体の育成

○いじめ・不登校等への取組の充実

Ⅲ　信頼される学校づくりの推進

○教職員の服務規律の徹底
○財務会計事務の適正執行

（2）学校運営の基本方針

1　校　　訓

『立　　志』　考える　　しまる　　がんばる

2　学 校 教 育 目 標

○ 意欲的に学習し、自己を向上させる
○ 豊かな心を育み、個性を伸長させる
○ 人格を尊重し、相互に敬愛する精神を養う
○ 充実した気力と体力を養う

3　重　点　目　標

(1) 生徒一人ひとりが自ら学び、自ら考える教育活動の推進
(2) 豊かな人間性と自主性・自律心の育成の推進
(3) 心の触れ合いや感動体験、自己肯定感の育成を重視した創意ある教育活動の推進
(4) 地域・保護者との連携・相互理解を深め、期待と信頼に応える学校づくりの推進

4　経　営　方　針

(1) 生徒一人ひとりが自ら考え判断し、主体的に行動できる教育活動の推進
(2) 健康・安全面に留意し、生命尊重の態度育成を図る教育活動の推進
(3) 学校課題解決に向けた共通理解・協働体制による活力ある学校づくりの推進
(4) 教員一人ひとりの授業力・生徒指導力の向上及び教育公務員としての自覚の深化

5　教育課程編成の方針

(1) 生徒の能力・適性・進路等に対応し、進路目標の実現を目指すこと
(2) 教科・科目及び特別活動を充実させ、確かな学力と豊かな人間性の育成をすること
(3) キャリア教育や言語活動を重視し、コミュニケーション能力を育成すること
(4) 小・中学校との連携の強化と地域の教育力を積極的に活用すること

6　指導上の重点事項

学習指導	(1) わかる授業を展開し学ぶ喜びを実感させ、基礎学力の定着と自ら学ぶ意欲の向上に努める。 (2) 生徒の学習実態や状況を把握し、学習意欲を高める授業内容及び評価方法の工夫改善に努める。 (3) 進路希望の実現のため、学習指導方法の研究と少人数・習熟度学習の充実と深化に努める。
生徒指導	(1) 生徒と教師の信頼関係の構築に努め、心の触れ合う生徒指導を進める。 (2) 社会人として望ましい生活習慣や社会性を身につけようとする姿勢を養う。 (3) 生徒会活動や部活動を通じ、連帯感・協調性を体得させ自主性・自律心を育成する。
進路指導	(1) ３年間を見通したキャリア教育により、望ましい職業観・社会性（勤労観）を育成し適切な進路選択・実現を図る。 (2) 生徒一人ひとりの学習状況、進路希望の情報を共有し、適切な進路情報・資料提供と個別指導などの学習環境の整備を図る。 (3) 生徒や保護者と計画的な進路面談を実施し、自己理解及び能力・適性に応じた進路目標の設定に努める。
健康安全指導	(1) 情報モラル教育、交通安全、薬物乱用防止等の安全教育に努める。 (2) 校舎内外の美化や施設設備の保全に努め、清潔で明るい環境づくりに努める。 (3) 防災・安全教育の充実・推進を図り、生命を尊重する心や緊急時の判断力・対応力を育成する。

3　教職員

（1）教職員構成

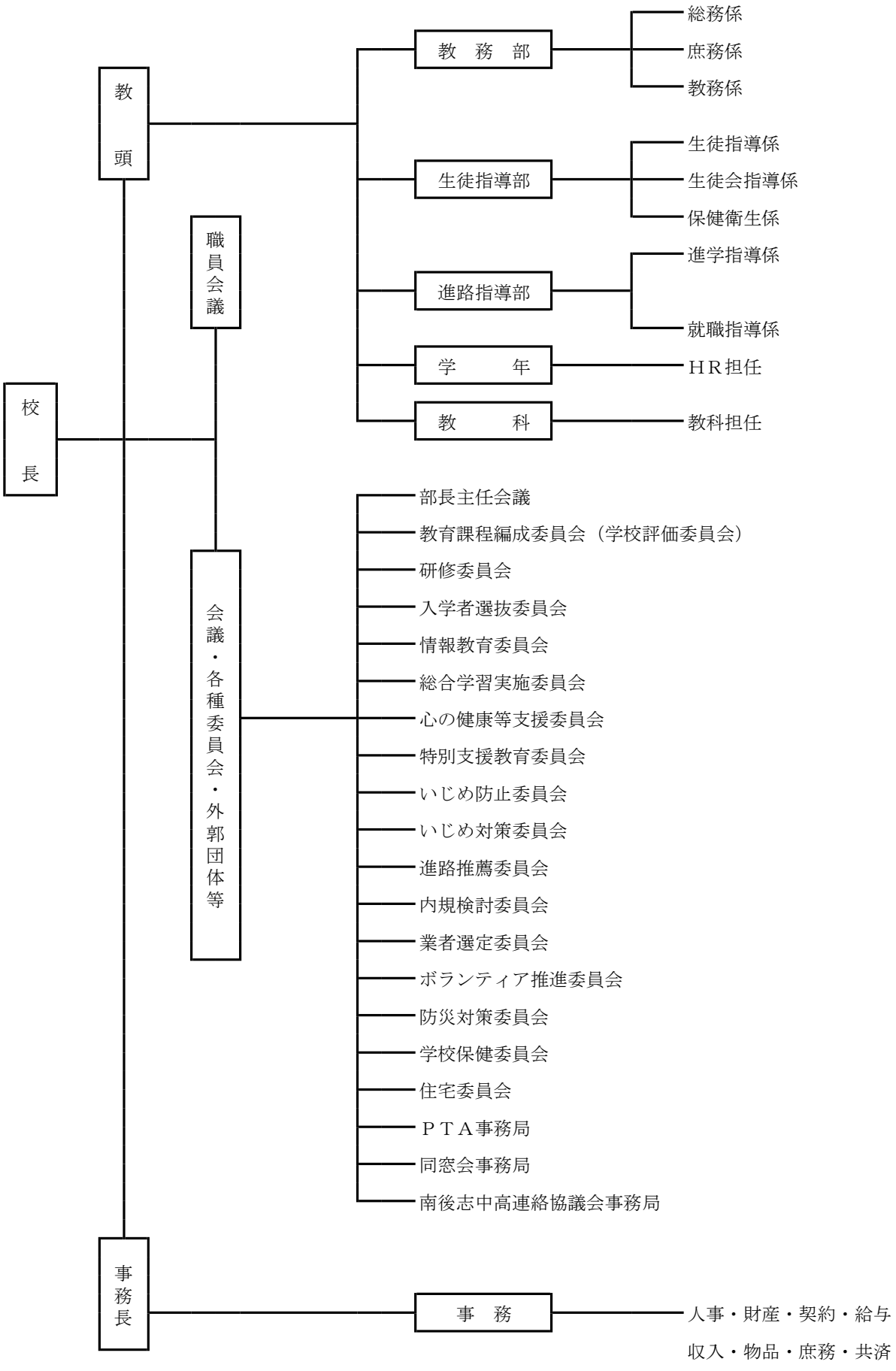
校長	教頭	教諭	養護教諭	事務長	事務職員	公務補	臨時事務職員	学校医	学校歯科医	学校薬剤師	計
1	1	10	1	1	1	1	1	1	1	1	20

（2）職員一覧

職　名	氏　　名	着任年月日	担当教科	担当ＨＲ等	分　掌	部活動	生徒会委員会
校　長	澤　田　慎　也	平 29.4.1					
教　頭	富　永　　学	平 29.4.1					
教　諭	清　原　　薫	平 29.4.1	地歴公民	２Ａ副担	進路指導	女子バレー部	選挙管理委員会
〃	宮　川　明　子	平 26.4.1	家庭 書道	３Ａ副担	教務 進路指導	ボランティア部	図書委員会
〃	青　山　　亨	平 27.4.1	保健体育	１学年付	◎生徒指導	野球部	体育委員会
〃	土　永　和　代	平 27.4.1	国　　語	１学年付	教　　務	バドミントン部	文化委員会
〃	佐　藤　育　子	平 26.4.1	英　　語	２学年付	◎教　　務	テニス部	
〃	今　野　重　義	平 29.4.1	英　　語	◎１Ａ担任	○進路指導	バドミントン部	
〃	藤　島　慶　太	平 26.4.1	商業 情報	３学年付	◎進路指導	女子バレー部	
〃	佐　藤　崇　力	平 28.4.1	数　　学	◎３Ａ担任	○教　　務	テニス部	
〃	鈴　木　啓　仁	平 28.4.1	理　　科	◎２Ａ担任	○生徒指導	バドミントン部	
〃	清　水　　啓	平 29.4.1	数　　学	１Ａ副担	生徒指導	野球部	
養護教諭	佐　藤　祐莉恵	平 25.4.30		２学年付	生徒指導	ボランティア部	保健委員会
事務長	永　江　英　樹	平 28.4.1					
事務職員	遠　藤　宏　輝	平 29.4.1					
公務補	南　　隆　司	平 11.4.1					
臨時事務職員	圓　山　愛希子	平 29.4.1					
学校医	祁答院　尚　嗣						
歯科医	星　　政　和						
薬剤師	田　村　英　俊						

4　運営組織

（1）運営組織図



（2）校務分掌

◎…部長　○…副部長

分　掌	氏　　名
教　務　部	◎佐　藤　育　子（2付）　○佐　藤　崇　力（3担）　宮　川　明　子（3副） 土　永　和　代（1付）
生徒指導部	◎青　山　　亨（1付）　○鈴　木　啓　仁（2担）　佐　藤　祐莉恵（2付） 清　水　　啓（1副）
進路指導部	◎藤　島　慶　太（3付）　○今　野　重　義（1担）　宮　川　明　子（3副） 清　原　　薫（2副）

（3）委員会・事務局等

◎…委員長・事務局長　○…副委員長・事務局次長　☆…その他

分　掌	氏　　名
教育課程編成 (学校評価)	◎富永（教頭）　○佐藤育　土永　清原　佐藤崇　鈴木 青山　宮川　藤島
入学者選抜	◎富永（教頭）　○佐藤育　佐藤崇　青山　藤島　遠藤
防災対策	◎富永（教頭）　永江（事務長）　佐藤育　青山　藤島 今野　鈴木　佐藤崇
ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ推進	◎富永（教頭）　○青山　佐藤育　藤島　佐藤祐　遠藤
研　修	◎佐藤育　青山　藤島
情報教育	◎藤島　鈴木　佐藤崇　遠藤
総合学習	◎藤島　富永（教頭）　今野　鈴木　佐藤崇
業者選定	◎富永（教頭）　永江（事務長）　佐藤育　今野　鈴木　佐藤崇
修学旅行	◎富永（教頭）　佐藤育　青山　今野　鈴木　佐藤崇
地域ｷｬﾝﾊﾟｽ校	◎富永（教頭）　○佐藤育　佐藤崇　藤島　土永
特別支援教育	佐藤育　佐藤祐
学校保健	◎澤田（校長）　富永（教頭）　永江（事務長）　青山　佐藤祐
住　宅	◎富永（教頭）　永江（事務長）　藤島　今野　南
Ｐ　Ｔ　Ａ	◎富永（教頭）　○佐藤育　永江（事務長）　清原　宮川　土永　清水
同　窓　会	☆澤田（校長（名誉会長））　◎富永（教頭）　永江（事務長）　土永 清原　宮川　南
南後志中高連	◎富永（教頭）　佐藤育　佐藤崇　土永

※保健主事…青　山　　亨　　高体連…青　山　　亨　　高野連…青　山　　亨　　高文連…宮　川　明　子

（4）学年・学級

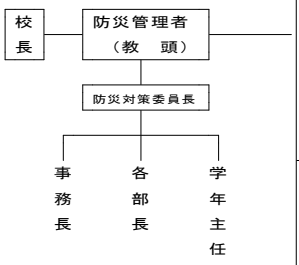
第１学年（主任…今野）		第２学年（主任…鈴木）		第３学年（主任…佐藤崇）	
組	Ａ	組	Ａ	組	Ａ
担　任	今　野	担　任	鈴　木	担　任	佐藤崇
副担任	清　水	副担任	清　原	副担任	宮　川
学年付	青山・土永	学年付	佐藤育・佐藤祐	学年付	藤　島

（5）各教科

◎…教科主任

教　科	氏　　名	
国　　語	◎土　永　和　代	
地歴・公民	◎清　原　　薫	
数　　学	◎佐　藤　崇　力	清　水　　啓
理　　科	◎鈴　木　啓　仁	
保健・体育	◎青　山　　亨	
英　　語	◎佐　藤　育　子	今　野　重　義
芸　　術	◎宮　川　明　子	
家　　庭	◎宮　川　明　子	
情　　報	◎藤　島　慶　太	
商　　業	◎藤　島　慶　太	
総合学習	１年	清　水　　啓
	２年	清　原　　薫
	３年	宮　川　明　子

（6）災害予防組織及び各室管理責任者



1階	場　所	責任者	場　所	責任者
	校長室	事務長	機械室	遠藤
	職員室	教頭	物品庫A	遠藤
	事務室	事務長	物品庫B	遠藤
	保健室	佐藤祐	暗　室	遠藤
	公務補室	南	職員玄関	南
	会議室	遠藤	渡り廊下	佐藤祐
	休養室	教頭	生徒玄関	佐藤祐
	応接室	教頭	管理棟廊下	南
	放送室	清水	職員便所	南
	休養室（女）	佐藤祐	生徒便所（男）	佐藤崇
	倉　庫	遠藤	生徒便所（女）	佐藤祐

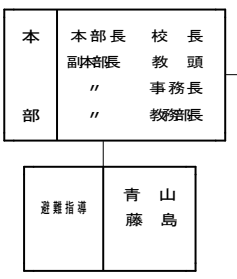
2階	場　所	責任者	場　所	責任者
	３A教室	佐藤崇	作法室	土永
	多目的教室	佐藤崇	生物化学準備室	鈴木
	視聴覚準備室	佐藤育	理科準備室	鈴木
	視聴覚教室	佐藤育	物理地学教室	鈴木
	司書室	宮川	進路指導室	藤島
	図書室	宮川	生徒便所（男）	佐藤崇
	２階教材室	清原	生徒便所（女）	佐藤育
	生徒会室	清水	２階廊下	清原

3階	場　所	責任者	場　所	責任者
	１A教室	今野	家庭科準備室	宮川
	２A教室	鈴木	被服教室	宮川
	遠隔授業教室	佐藤育	３階教材室	清水
	３階講義室	藤島	情報処理室	藤島
	海側特別教室	今野	生徒便所（男）	清水
	山側特別教室	今野	生徒便所（女）	土永
	書道教室	土永	３階廊下	土永
	調理教室	宮川		

その他

場　所	責任者	場　所	責任者	場　所	責任者
海側階段	清原	体育教官室	青山	格技場	青山
山側階段	清原	更衣室	青山	上屋・塔屋・物置	南
体育館	青山	体育器具室	青山	記念会館	南

（7）自衛防災組織

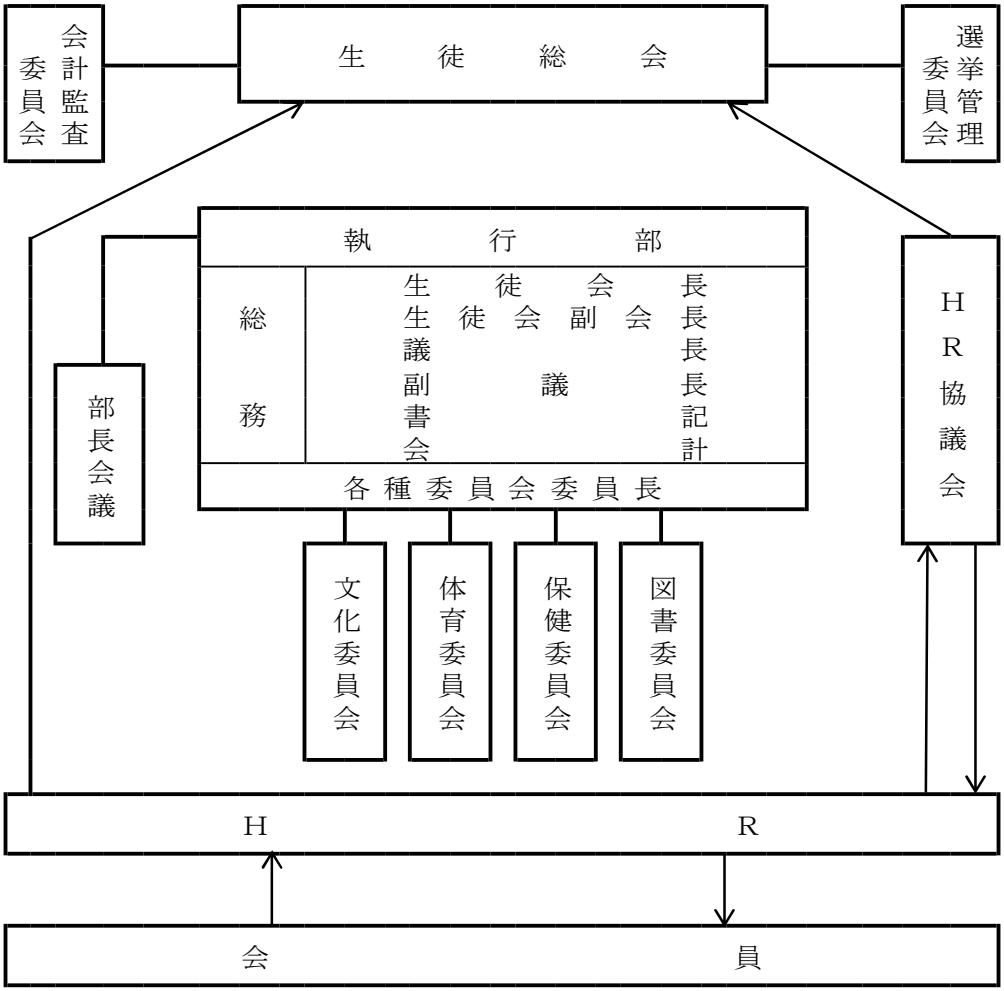


班	場　所	担当教員	係生徒
消火栓	３階消火栓	鈴木	３年男子
	２階消火栓	佐藤崇	〃
	１階消火栓	藤島	〃
	体育館消火栓	宮川	〃
	格技場消火栓	宮川	〃
搬出班	校長室・事務室	遠藤	２年男子
	職員室・応接室	遠藤	２年男子
	公務補室・倉庫	南	２年男子
	保健室	清水	２年女子
	放送室・物品庫	清水	２年女子
	体育館・格技場	清水	２年女子
	視聴覚室・図書室	清原	１年男子
	教材室・生徒会室	清原	１年男子
	物理地学室・生物化学室	清原	１年男子
		土永	１年女子
	書道・被服室	今野	１年女子
	調理室・情報処理室		
救護班	負傷者の応急救護 看護移送	佐藤祐 圓山	３年女子
警備班	危険な場所への立入防止 搬出物品の警備	佐藤育	３年女子

※職員・生徒不在時は緊急自衛防災組織を再編する。

5　生徒会機構

（1）生徒会組織図



（2）部活動・同好会一覧（平成 29 年 5 月 1 日現在）

種類	団体名	顧問	部員数
部	野球	青山　亨　清水　啓	12
	女子バレーボール	藤島　慶太　清原　薫	6
	バドミントン	鈴木　啓仁　今野　重義　土永　和代	16
	テニス	佐藤　崇力　佐藤　育子	12
	ボランティア	宮川　明子　佐藤祐莉恵	20
		計	66
		加入率	78.6%

6　日課表

職員出勤	8：00	4校時	11：40～12：30
職員朝会	8：05～ 8：15	昼食	12：30～13：10
朝読書	8：20～ 8：30	5校時	13：15～14：05
ホームルーム	8：30～ 8：35	6校時	14：15～15：05
1校時	8：40～ 9：30	ホームルーム・清掃	15：05～15：20
2校時	9：40～10：30	生徒下校	～16：30
3校時	10：40～11：30	職員退勤	16：30

7　生徒概況（平成 29 年５月１日現在）

（１）生徒在籍数

		１学年	２学年	３学年	総　計
Ａ　組	男　子	12	18	19	49
	女　子	15	11	9	35
	計	27	29	28	84

（２）出身中学校

学年 / 性別 / 中学校名	第１学年			第２学年			第３学年			合　計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
寿　都	7	7	14	10	9	19	17	7	24	34	23	57
島　牧	2	6	8	7	1	8	2	2	4	11	9	20
黒松内	1	2	3	0	0	0	0	0	0	1	2	3
そ の 他	2	0	2	1	1	2	0	0	0	3	1	4
計	12	15	27	18	11	29	19	9	28	49	35	84

（３）居住地

学年 / 性別 / 市町村名		第１学年			第２学年			第３学年			合　計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
寿都町	本　町	3	4	7	4	7	11	9	6	15	16	17	33
	樽岸町	1	0	1	0	0	0	1	0	1	2	0	2
	湯別町	0	0	0	0	1	1	1	1	2	1	2	3
	歌棄町	5	3	8	7	2	9	5	0	5	17	5	22
	磯谷町	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1
島牧村		2	6	8	7	1	8	2	2	4	11	9	20
黒松内町		1	2	3	0	0	0	0	0	0	1	2	3
そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		12	15	27	18	11	29	19	9	28	49	35	84

（４）通学方法

方法 / 学年	１　年	２　年	３　年	合　計
徒　歩	6	6	9	21
自転車	1	5	6	12
バ　ス	20	18	13	51
その他	0	0	0	0
計	27	29	28	84

（５）バス通学

地域 / 学年	１　年	２　年	３　年	合　計
寿都本町	0	0	0	0
樽岸・湯別	1	1	3	5
歌棄・磯谷	8	9	6	23
島　牧	8	8	4	20
黒松内	3	0	0	3
計	20	18	13	51

（６）通学時間

時間 / 学年	１　年	２　年	３　年	合　計
～30 分	23	21	23	67
31 分～60 分	3	8	5	16
60 分～	1	0	0	1
計	27	29	28	84

（７）居住所状況

居住所 / 学年	１　年	２　年	３　年	合　計
自　宅	26	28	28	82
下宿・間借	1	1	0	2
計	27	29	28	84

8　進路状況（平成 29 年 3 月 31 日現在）

（1）平成 28 年度卒業生進路状況

項目 / 道内外	進学					就職	その他	計
	国公立大学	国公立短大	私立大学	私立短大	専修・各種			
道内	1	0	5	0	10	9	0	25
道外	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1	0	5	0	10	9	0	25

※過去の卒業生進路状況（平成 25～27 年度）

年度	項目 / 道内外	進学					就職	その他	計
		国公立大学	国公立短大	私立大学	私立短大	専修・各種			
25	道内	4	0	2	0	9	14	0	29
	道外	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	4	0	2	0	9	14	0	29
26	道内	0	0	1	0	12	12	0	25
	道外	0	0	1	0	0	0	0	1
	計	0	0	2	0	12	12	0	26
27	道内	1	0	4	0	13	12	0	30
	道外	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	1	0	4	0	13	12	0	30

（2）平成 28 度卒業生の産業別就職状況

業種 / 道内外	農業	林業	漁業	建設業	製造業	卸売小売業	金融・保険	運輸・通信	電気業	サービス業	公務員	その他	計
道内	0	0	0	1	0	2	0	0	0	4	2	0	9
道外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	1	0	2	0	0	0	4	2	0	9

（3）平成 28 年度卒業生の進学状況

	学校名	男	女
大学	小樽商科大学		1
	北海学園大学	1	
	北海道情報大学	1	
	札幌大学	2	
	日本医療大学		1
	小計	4	2
短大			
	小計	0	0
専修・各種学校	日本工学院北海道専門学校	1	
	札幌こども専門学校	1	
	大原法律公務員専門学校	1	
	日鋼記念看護学校		1
	北海道理容美容専門学校		1
	北海道ﾊｲﾃｸﾉﾛｼﾞｰ専門学校		1
	札幌ﾋﾞｭｰﾃｨｰｱｰﾄ専門学校		1
	専門学校札幌ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ		1
	伊達赤十字看護専門学校		1
	市立室蘭看護専門学院		1
	小計	3	7
合計		7	9
		16	

（4）平成 28 年度卒業生の就職状況

事業所名	男	女
医療法人勉仁会中垣病院	1	
ゼビオ株式会社	1	
株式会社余市自動車工業	1	
札幌市職員	1	
株式会社プリンスホテル	1	
自衛隊（一般曹候補生）	1	
株式会社長組		1
株式会社ﾃｰｵｰ小笠原ｲｴﾛｰｸﾞﾛｰﾌﾞ		1
社会福祉法人いちもく会		1
合計	6	3
	9	

9　資格取得状況（平成 28 年度）

検定名	級	取得人数			
		１年	２年	３年	合計
日本漢字能力検定（日本漢字能力検定協会）	２　級	1	0	0	1
	準　２　級	0	1	0	1
	３　級	0	0	0	0
硬筆書写検定（日本書写技能検定協会）	１　級	0	0	0	0
	２　級	0	0	0	0
	３　級	5	0	0	5
毛筆書写技能検定（日本書写技能検定協会）	２　級	0	0	0	0
	３　級	2	0	0	2
実用数学技能検定（日本数学検定協会）	２　級	0	0	0	0
	準　２　級	0	0	0	0
	３　級	0	0	0	0
実用英語技能検定（日本英語検定協会）	２　級	0	0	0	0
	準　２　級	2	1	0	3
	３　級	3	6	0	9
	４　級	4	1	0	5
簿記能力検定（全国経理教育協会）	１　級	0	0	0	0
	２　級	0	0	4	4
	３　級	0	0	0	0
情報処理技能検定（日本情報処理検定協会）	１　級	0	5	1	6
	準　１　級	0	2	1	3
	２　級	0	0	0	0
	準　２　級	7	0	0	7
プレゼンテーション作成検定（日本情報処理検定協会）	１　級	0	5	0	5
	２　級	0	0	0	0
	３　級	0	0	0	0
文書デザイン検定（日本情報処理検定協会）	１　級	0	5	0	5
	２　級	0	0	1	0
	３　級	0	0	0	0
ビジネスマナー実務検定（実務技能検定協会）	１　級	0	0	0	0
	２　級	0	0	0	0
	３　級	0	0	0	0
サービス接遇検定（実務技能検定協会）	準　１　級	0	0	0	0
	２　級	0	0	0	0
	３　級	0	0	0	0

10　学校外の学修における単位認定（平成 28 年度）

学修種別	種　　類	級・種別	認　定	対応科目	認定人数			
			単位数		１年	２年	３年	合計
技能審査	日本漢字能力検定	２　級	２単位	現代文Ｂ	1	0	0	1
		準２級	２単位	国語総合	0	1	0	1
技能審査	実用英語技能検定	準２級	２単位	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ英語Ⅰ	2	1	0	3
技能審査	情報処理技能検定	１　級	２単位	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀﾘﾃﾗｼｰ	0	5	1	6

11　教育課程表（平成 29 年度）

（1）平成 29 年度入学者教育課程表

◎第１学年

単位数	1 2	3 4	5 6	7 8 9	10 11	12 13	14 15 16	17 18 19	20	21 22	23 24	25 26	27 28	29	
科目	国語総合		地理A	数学Ⅰ	数学A	化学基礎	生物基礎	体育	保健	書道Ⅰ	英語Ⅰ	コミュニケーション	社会と情報	総合的な学習	LHR

◎第２学年

単位数	コース	1 2	3 4	5 6 7 8	9 10	11 12 13	14	15 16	17 18	19 20	21 22	23 24	25 26	27 28	29	
科目	α	現代文B	古典A	世界史B	物理基礎	体育	保健	ション英語Ⅱ	コミュニケー	家庭総合	選択Ⅰ 日本史B ①生物	選択Ⅱ 英語表現Ⅰ フードデザイン ②生物	選択Ⅲ 国語表現 ①数学Ⅱ 情報基礎	選択Ⅳ 実用国語A ②数学Ⅱ 生徒スポーツA	総合的な学習	LHR
	β										①簿記	②簿記	情報基礎	生徒スポーツA 実用国語A		

※１　選択科目群の①②は必ずセットで履修
※２　日本史B履修者は３年次も必履修

◎第３学年

単位数	コース	1 2	3 4	5	6 7	8	9 10	11 12 13	14	15 16	17 18	19 20	21 22 23 24	25 26	27 28	29	
科目	α	現代文B	倫理		政治経済	体育		ション英語Ⅲ	コミュニケー	家庭総合	選択Ⅰ 日本史B 数学B 生活と福祉	選択Ⅱ 実践英語 フードデザイン	選択Ⅲ 国語表現(2)＋時事問題研究(2) 数学研究 コンピュータリテラシー	選択Ⅳ ①化学 実用国語B	**選択Ⅴ** ②化学 実用数学 生徒スポーツB	総合的な学習	LHR
	β										①財務会計Ⅰ	②財務会計Ⅰ	コンピュータリテラシー	実用国語B	実用数学 生徒スポーツB		

※１　選択科目群の①②は必ずセットで履修
※２　２年次日本史B履修者は３年次も必履修
※３　ｺﾝﾋﾟｭｰﾀﾘﾃﾗｼｰは基本的に２年次情報基礎履修者のみ。

（2）平成 29 年度学年別教育課程表

◎第１学年

単位数	1 2	3 4	5 6	7 8 9	10 11	12 13	14 15 16	17 18 19	20	21 22	23 24	25 26	27 28	29	
科目	国語総合		地理A	数学Ⅰ	数学A	化学基礎	生物基礎	体育	保健	書道Ⅰ	英語Ⅰ	コミュニケーション	社会と情報	総合的な学習	LHR

◎第２学年

単位数	コース	1 2	3 4	5 6 7	8 9	10 11	12 13	14 15	16	17 18 19	20	21 22	23 24	25 26 27 28	29	
科目	α	現代文B	古典A	世界史B	数学A	化学基礎	体育		保健	ション英語Ⅱ	コミュニケー	家庭総合	選択Ⅰ群 ・英語表現Ⅰ ・数学Ⅱ ・フードデザイン ・情報基礎	選択Ⅱ群 ・国語表現＋日本史B ・生物 ・簿記	総合的な学習	LHR
	β												選択Ⅰ群 ・フードデザイン ・情報基礎	選択Ⅱ群 ・簿記		

※１　選択Ⅰ群はαコースが英語表現Ⅰ、数学Ⅱ、フードデザイン、情報基礎から１科目選択
　　βコースはフードデザイン、情報基礎から１科目選択
※２　選択Ⅱ群はαコースが国語表現(2)＋日本史B(2)、生物、簿記から１科目選択
　　βコースは簿記の必修

◎第３学年

単位数	コース	1 2	3 4	5 6	7 8	9 10	11 12	13 14	15 16	17 18	19 20	21 22 23 24	25 26 27 28	29	
科目	α	現代文B		世界史B	政治経済	数学研究	体育		ション英語Ⅲ	コミュニケー	家庭総合	選択Ⅰ群 ・文系進学選択科目群 ・数学Ⅱ・B ・コンピュータリテラシー	選択Ⅱ群 ・国語表現＋探究古典 ・化学 ・財務会計Ⅰ	総合的な学習	LHR
	β											選択Ⅰ群 ・コンピュータリテラシー	選択Ⅱ群 ・財務会計Ⅰ		

※１　選択Ⅰ群はαコースが文系進学選択科目群（小説研究(2)、現代史(1)、リスニング(1)）、
　　数学Ⅱ・B、コンピュータリテラシーから１科目選択
　　βコースはコンピュータリテラシーの必修
※２　選択Ⅱ群はαコースが国語表現(3)＋探究古典(1)、化学、財務会計Ⅰから１科目選択
　　βコースは財務会計Ⅰの必修

12　年間行事計画

前期

4月	5月	6月	7月	8月	9月
1 土 学年始休業(～７日)	1 月	1 木 開校記念日	1 土 求人票受付開始 文書デザイン検定① 情処技能検定①、プレゼン検定① 進路模試（３年記述、１・２年総合学力）	1 火 夏期講習（～8月10日）	1 金 生徒会役員選挙公示
2 日	2 火 振替休業（PTA総会）	2 金 前期中間考査①	2 日	2 水	2 土
3 月 辞令交付式 9:00 転入職員挨拶回り	3 水 憲法記念日	3 土 英語検定①	3 月	3 木	3 日
4 火	4 木 みどりの日	4 日	4 火	4 金	4 月 前期期末考査①
5 水 センターキャンパス連携委員会（岩内）	5 金 こどもの日	5 月 前期中間考査②	5 水 進路ガイダンス④(3年)	5 土	5 火 前期期末考査② 就職応募開始
6 木 部長主任会議	6 土	6 火 前期中間考査③	6 木	6 日	6 水 前期期末考査③
7 金 新年度職員会議	7 日	7 水 壮行会(高野連、全道)	7 金 学校祭①	7 月	7 木
8 土	8 月 スタディサポート（１年）	8 木	8 土 学校祭②	8 火	8 金 生徒会役員選挙 進路模試（３年全統記述、２年公務員）
9 日	9 火 壮行会(高体連地区)	9 金 進路模試（３年マーク）	9 日 全経簿記能力検定②	9 水	9 土 進路模試 （３年全統記述、２年看護）
10 月 着任式・始業式 入学式	10 水 ハイパーQU検査（全学年）	10 土 進路模試 （３年マーク・道看、２年看護）	10 月 振替休業	10 木	10 日
11 火 対面式(5) PTA役員会 交通安全街頭指導	11 木 進路ガイダンス①(1・2年)	11 日	11 火 進路希望調査(3年)	11 金 山の日	11 月
12 水 全校集会	12 金 第１回PTA役員・理事会	12 月	12 水 部長主任会議	12 土	12 火 推薦会議①
13 木 尿検査(1次)	13 土	13 火 成績単票提出	13 木 職員会議・合評会	13 日	13 水 成績単票提出 ハイパーQU検査(１，２年)
14 金 身体測定(6)	14 日	14 水 選択科目ガイダンス(1,2年)	14 金 進路模試（３年公務員）	14 月	14 木 中間反省会議
15 土	15 月	15 木 進路ガイダンス③(3年)	15 土 寿都神社祭（～16日）	15 火	15 金 ２年しりべし学園分校交流学習
16 日	16 火 南後志中高連絡協議会総会 内科検診(5,6ｈ)	16 金 成績一覧表提出 漢字検定①	16 日	16 水	16 土 就職選考試験開始
17 月	17 水 部長主任会議 尿検査(３次) 進路ガイダンス②(3年)	17 土 高体連水泳当番校	17 月 海の日	17 木	17 日
18 火 歯科検診(5,6)	18 木 職員会議	18 日 硬筆毛筆書写検定①	18 火	18 金 全校集会 部長主任会議 進路模試（３年全統マーク） 赤ちゃんふれあい体験①(３年,6h)	18 月 敬老の日
19 水 進路ガイダンス①(3年) 部長主任会議	19 金 進路模試（３年公務員）	19 月	19 水	19 土 進路模試（３年全統マーク・道看）	19 火 成績一覧表提出
20 木 写真撮影	20 土	20 火 部長主任会議 食育指導①(1年)	20 木	20 日	20 水 部長主任会議
21 金 生徒総会(6)	21 日	21 水 職員会議・仮評定会議 食育指導①(２年) 進路ガイダンス②(1・2年) 進路希望調査①(1・2年)	21 金	21 月 職員会議	21 木
22 土 PTA総会 進路模試（３年記述）	22 月	22 木 食育指導①（３年）	22 土	22 火 赤ちゃんふれあい体験②(３年 2,3h) 漢字検定②-1	22 金 成績会議・職員会議
23 日 進路模試 （３年記述・道看・公務員）	23 火 学校評議員会	23 金 進路模試（３年公務員）	23 日	23 水 進路ガイダンス⑤(3年)	23 土 秋分の日 進路模試（３年道看）
24 月 心電図・X線(1年 5h) 職員会議	24 水	24 土 ビジネス実務マナー検定	24 月 全校集会	24 木 進路ガイダンス③(1,2年)	24 日
25 火 1年宿泊研修結団式 尿検査(2次)	25 木	25 日	25 火 夏季休業（～8月17日） 夏期講習（～8月10日）	25 金	25 月
26 水 １年宿泊研修（～28日） 携帯電話安全教室(1年)	26 金	26 月	26 水	26 土	26 火
27 木	27 土	27 火 学校祭衛生管理講習会①	27 木	27 日	27 水
28 金	28 日 全経簿記能力検定①	28 水 学校祭衛生管理講習会②	28 金	28 月 食育指導②(1年)	28 木 体育大会
29 土 昭和の日	29 月	29 木	29 土	29 火 食育指導②(2年)	29 金 終業式
30 日	30 火	30 金 進路模試（３年記述）	30 日	30 水 食育指導②(3年)	30 土 学期間休業（～10月3日）
	31 水		31 月	31 木 PTA懇談会	
・交通安全教室（下旬） ・第102号PTAだより発行 ・自転車安全点検① ・自転車安全点検②	・花いっぱい運動(草取り) ・防災避難訓練① ・部活動写真撮影 ・夏服準備期間（下旬） ・	・夏服衣替（上旬） ・花いっぱい運動(苗植え) ・公開授業週間 ・高P連全道大会	・家庭訪問期間 ・就職者カウンセリング ・薬物乱用防止教室（２年） ・思春期教室（１年） ・思春期教室（２年） ・３年進路用写真撮影（中旬）	・家庭訪問期間 ・花いっぱい運動(草取り)	・校内大学入試センター試験出願説明会 ・交通安全街頭キャンペーン（下旬） ・第103号PTAだより発行 ・冬服準備期間（下旬） ・PTA研修旅行

後期					
１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
1 日 専門学校出願開始	1 水	1 金 後期中間考査③ 進路模試 （３年センタープレ、２年公務員）	1 月 元日	1 木 第2回PTA役員・理事会	1 木 卒業式
2 月 職員検診	2 木	2 土 進路模試（３年センタープレ）	2 火	2 金 スキー学習 進路模試（２年センター早期）	2 金 式場復元（1h）
3 火 始業式 冬服衣替	3 金 文化の日	3 日	3 水	3 土 進路模試 （２年センター早期・公務員）	3 土
4 水	4 土 サービス接遇実務検定	4 月	4 木 冬期講習（～11日まで）	4 日	4 日
5 木 推薦会議②	5 日	5 火 総合学習発表会	5 金	5 月 成績単票提出	5 月 入選会場設営(4h)
6 金 英語検定②（３年全員） 進路模試（３年全統マーク）	6 月 ２年見学旅行結団式	6 水 進路ガイダンス④(1・2年) 進路希望調査②(1・2年)	6 土	6 火 成績一覧表提出	6 火 入選学力検査
7 土 進路模試（３年全統マーク）	7 火 ２年見学旅行(～11日)	7 木	7 日	7 水 入選全体会議	7 水 入選面接、採点
8 日	8 水	8 金 成績単票提出 漢字コンクール	8 月 成人の日	8 木 卒業認定会議 卒業式業務会議	8 木
9 月 体育の日	9 木	9 土 情報処理技能検定③ 文書デザイン検定③ プレゼン検定③	9 火	9 金 スキー遠足	9 金 成績単票提出
10 火	10 金 硬筆毛筆書写検定②	10 日	10 水	10 土	10 土
11 水 インターンシップ①	11 土	11 月	11 木	11 日 建国記念の日	11 日
12 木 インターンシップ② １年社会見学	12 日	12 火 成績一覧表提出	12 金	12 月 振替休日	12 月 成績一覧表提出
13 金	13 月 ２年振替休業	13 水 部長主任会議	13 土 大学入試センター試験①	13 火	13 火
14 土 情報処理技能検定② 文書デザイン検定② プレゼン検定②	14 火	14 木 職員会議・仮評定会議	14 日 大学入試センター試験②	14 水 年度末反省会議	14 水 合否判定会議、進級認定会議 3年指導要録提出
15 日	15 水 部長主任会議	15 金 ふるさとキャリア合同発表会	15 月	15 木 進路ガイダンス⑤(1､2年)	15 木
16 月 食育指導③(1年)	16 木 職員会議	16 土	16 火	16 金 部長主任会議 同窓会役員会	16 金 合格発表 部長主任会議 PTA送別会
17 火 部長主任会議 食育指導③(2年)	17 金	17 日	17 水 全校集会 部長主任会議	17 土 文書デザイン検定④ プレゼン検定④ 情報処理技能検定④	17 土
18 水 外国語教育強化拠点事業公開研究会 食育指導③(3年)	18 土	18 月	18 木 職員会議	18 日 全経簿記能力検定④	18 日
19 木 職員会議	19 日	19 火	19 金 英語検定③(1,2年全員) 進路模試（２年記述、１年総合学力）	19 月	19 月 職員会議
20 金 漢字検定②-2	20 月	20 水	20 土 進路模試（２年記述）	20 火 職員会議	20 火
21 土	21 火	21 木 球技大会	21 日	21 水	21 水 春分の日
22 日	22 水	22 金 全校集会	22 月 食育指導④(１年)	22 木	22 木
23 月	23 木 勤労感謝の日	23 土 天皇誕生日 冬季休業(～1月16日)	23 火 食育指導④(２年) スキー学習	23 金 後期期末考査① 学校評議員会	23 金 終業式，離任式 転出職員挨拶回り
24 火 南後志中高連絡協議会研修会	24 金	24 日	24 水 食育指導④(３年)	24 土	24 土 学年末休業(～31日)
25 水	25 土	25 月 冬期講習①（～28日まで）	25 木	25 日	25 日
26 木	26 日 全経簿記能力検定③	26 火	26 金 スキー学習	26 月 後期期末考査②	26 月
27 金 学校説明会・一日体験入学	27 月	27 水	27 土 漢字検定③ 硬筆毛筆書写検定③ 進路模試（２年看護）	27 火 後期期末考査③ 卒業式場設営	27 火 1・2年指導要録提出
28 土 進路模試 （３年道看、１・２年総合学力）	28 火	28 木	28 日	28 水 卒業式予行 同窓会入会式	28 水
29 日 進路模試（２年総合学力）	29 水 後期中間考査①	29 金 学校閉鎖（1月3日まで）	29 月 卒業考査①		29 木
30 月	30 木 後期中間考査②	30 土	30 火 卒業考査② スキー学習		30 金 新入生事前登校
31 火		31 日	31 水 卒業考査③ 予餞会(5・6)		31 土
・大学入試センター試験出願 ・2年見学旅行保護者説明会 ・防災避難訓練②	・就職者合同面接会（札幌）① ・町P連研究大会 ・英検IBA	・認知症サポーター養成講座(２年)		・就職者合同面接会（札幌）②	・進路三者面談月間(2年) ・第104号PTAだより発行 ・心肺蘇生実技講習会(1年)

13　各部年間計画

（１）教務部

○重点目標

（１）総務（各種行事の企画・運営，各分掌・学年等との連絡・調整，渉外等に関わる事項）

重　点　目　標	実　　施　　計　　画	留　意　点
１．各分掌・学年・委員会　及び外郭団体・地域社会　との連携，効果的な連絡　調整によるスムーズな校　内運営	①入学式・卒業式・始業式・終業式等の学校行事の企画、実施	①要領等の作成、分担や手順の明確化
	②校歌指導の企画、実施	②各学年と調整
	③各分掌・学年年間計画及び年度末反省資料の集約、作成	③各分掌、学年等と調整
	④月間予定表の集約、作成	④各分掌、学年、部活動等と調整
	⑤年間予定表の集約、作成	⑤２月から調整
	⑥学校要覧，教育計画の編纂・作成	⑥各分掌、学年等と調整
	⑦行事の反省・記録	⑦各種行事終了後早期に実施
	⑧スクールバス利用生徒の集約、運行補助	⑧各学年、部活動、町教委と連携調整
２．職員の厚生の充実	①町内互助会の企画・運営	①町内の小・中学校との連携

（２）庶務（各種資料・様式の作成・収集・管理，情報機器の管理等に関わる事項）

重　点　目　標	実　　施　　計　　画	留　意　点
１．諸資料，様式の整理，　保管	①校内規程集，各種様式の更新	①他分掌と連携し、随時更新
	②定例職員会議資料及び記録の保管（データも保管）	②共有フォルダでデータ保管
２．図書，視聴覚・情報機　器，及びデータの管理	①図書室の管理	①生徒指導部・生徒会と連携
	②視聴覚・情報機器の管理	②使用者、使用状況の把握
	③職員用パソコン内のデータの整理・管理	③定期的にバックアップを取る
３．外部への情報発信の推　進	①学校案内パンフレットの編纂・作成	①原稿は本校で作成し、印刷は業者に依頼
	②ＨＰの作成・管理・運用	②ＨＰを定期的に更新する
	③学校便りの企画・発行	③作成依頼と発行、町教委との調整

（３）教務（学務に関わる事項）

重　点　目　標	実　　施　　計　　画	留　意　点
１．授業改善や各教科・分　掌・学年との連携による　生徒の学力の向上への取　り組み	①魅力ある授業の実践に向けた取り組み 1)校内研修、教科研修の推進 2)公開授業による教授法の研修の活性化 3)生徒による授業評価の実施 4)観点別評価の実施 5)シラバスの活用 6)生徒の能力や進路目標に応じた個別指導の工夫	① 1)校内研修の機会の提供と活性化 2)実施方法、運営の工夫 3)授業評価の複数回実施 4)観点別評価の実施と検証 5)授業での計画的な活用 6)生徒の実態を踏まえた教科毎の丁寧　かつ効果的な指導法の研究
	②基本的な学習態度の育成と自主的な学習に向けた取り組み 1)朝読書の時間の活用と充実 2)授業規律の確立 3)家庭学習の定着化の工夫	② 1)意義の周知徹底と有効活用 2)教科担任と学級担任、生徒指導部等との連携、教員間の情報の共有化 3)教科・学年との連携 週末課題等の充実
	③授業時数の確保 1)科目・クラス間のバランスを考慮した時間割の編成 2)期末考査の３日間日程実施、行事等の精選	2)授業時数の確保に努める
	④定期考査前後の効果的な指導 1)朝学習の実施 2)定期考査に向けた学習方法等の指導 3)成績不振者に対する適切かつ効果的な指導 4)成績会議の効果的な運営	④ 1)学年との連携、考査２週間前から実施 2)教科・学年との連携 3)成績不振者　の早期発見・対応（事前の個別指導）と事後指導の充実、保護者との連携 4)生徒に関する情報交換の活性化
２．生徒個々に応じた教育の実践	①配慮を要する生徒へのサポート	①特別支援教育委員会、心の健康等支援委員会との連携
３．教育課程の研究	①多様な進路選択に対応した教育課程の検討	①現教育課程の検証と改善点の整理
４．教務内規の改善	①内規の円滑な運用と検証	①内容の整理と適正化
５．コンピュータの活用に　よる各作業の合理化とデ　ータの管理	①成績単票、成績一覧表、生徒指導要録の作成	①入力方法や記載内容の統一化
	②成績等の生徒情報の一元管理	②第３学年、進路指導部との連携(調査書)
	③教務支援システムの運用	③ｼｽﾃﾑの有効活用と作業効率の向上

○業務予定

月	総　　務	庶　　務	教　　務
通年	○月間予定表の作成、集約 ○スクールバスの集約	○各種資料・記録の保管 ○図書・視聴覚・情報機器の管理 ○各種証明書の発行	○時間割及び時数統計表作成 ○教室内外の環境整備
4	○教務部年間計画、年間行事予定作成 ○各分掌・学年年間計画作成、集約 ○年間行事予定表集約 ○着任式・前期始業式の企画、実施 ○入学式の企画、実施 ○各種奨学生の案内、集約及び提出	○公簿（名票等）の作成 ○ＨＰの更新 ○学校便りの発行	○ＬＨＲ年間指導計画作成 ○教科年間指導計画作成、点検 ○教育課程編成委員会① ○各種報告提出
5	○学校要覧・教育計画編纂、集約 ○南後志中高連理事会及び総会	○ＨＰの更新 ○学校便りの発行	○特別時間割作成 （高体連大会集約） ○選択科目指導資料作成 ○教育課程編成委員会② ○成績処理様式の整理、作成
6		○学校案内パンフレットの編纂 ○ＨＰの更新 ○学校便りの発行	○前期中間考査、仮評定会議準備 ○成績会議資料作成 ○成績不振者指導計画作成 ○教科書採択理由報告書作成、提出 ○選択科目ガイダンス（１,２年） ○公開授業企画、実施
7	○全校集会の企画､実施（夏季休業前）	○ＨＰの更新 ○学校便りの発行	○夏季休業中の成績不振者指導計画作成○教科書採択需要表作成、提出
8	○全校集会の企画、実施 （夏季休業明け） ○ＰＴＡ懇談会の企画、実施	○ＨＰの更新 ○学校便りの発行	
9	○中間反省会議資料作成、集約 ○前期終業式の企画、実施	○図書教材の管理状況の点検 ○視聴覚・情報機器の管理状況の点検 ○データのバックアップ ○ＨＰの更新 ○学校便りの発行	○前期期末考査準備 ○授業評価企画、実施 ○成績会議資料作成 ○成績不振者指導計画 ○教科年間指導計画の点検
10	○後期始業式の企画、実施 ○南後志中高連協議会研修会	○ＨＰの更新 ○学校便りの発行	
11		○ＨＰの更新 ○学校便りの発行	○特別時間割作成（見学旅行（２年）） ○岩内高校授業見学 ○教科書変更報告 ○後期中間考査、仮評定会議準備
12	○全校集会の企画､実施（冬季休業前）	○ＨＰの更新 ○学校便りの発行	○成績不振者指導計画作成 ○入学者選抜業務開始
H30 1	○全校集会の企画、実施 （冬季休業明け） ○卒業式関係書類作成開始 ○校歌・式歌指導（３年）	○ＨＰの更新 ○学校便りの発行	
2	○反省会議資料集約、作成 ○校歌・式歌指導（１、２年） ○卒業式の企画、予行実施	○ＨＰの更新 ○学校便りの発行	○卒業認定会議資料作成 ○成績不振者指導計画作成 ○追認考査準備 ○学校外の学修の単位認定申請(3 年) ○後期期末考査準備(1,2 年)
3	○卒業式実施 ○後期終業式・離任式の企画、実施 ○次年度年間行事予定表作成	○図書教材の管理状況の点検 ○視聴覚・情報機器の管理状況の点検 ○データのバックアップ ○ＨＰの更新 ○学校便りの発行	○入学者選抜業務 ○進級認定会議資料作成 ○成績不振者指導計画作成 ○追認考査準備 ○学校外の学修の単位認定申請 (1,2 年) ○生徒指導要録点検 ○シラバス作成 ○教科年間指導計画の点検、保管

○業務分担

係	業　　務　　内　　容	担　当　者
総　務	各種行事の企画・運営，各分掌・学年等との連絡・調整，渉外等に関わる事項	
	・公文書報告	佐藤育
	・外郭団体との連携	佐藤育
	・教務部年間計画作成	佐藤育
	・学校行事（始業式、終業式、入学式、卒業式等）の企画，運営	佐藤育・宮川
	・月間行事予定作成、集約	佐藤育・佐藤崇
	・奨学金の集約、提出	佐藤崇・土永
	・学校要覧・教育計画の編纂、集約	佐藤育・佐藤崇
	・各種行事毎の反省の集約	土永
	・学校案内パンフレットの編纂、集約	土永・佐藤育
	・ＰＴＡ事業企画運営、資料作成	佐藤育・宮川
	・南後志中高連絡協議会	佐藤育・土永・佐藤崇
	・町内互助会の企画、実施	宮川
	・スクールバス利用生徒の集約と連絡調整	土永・佐藤育
庶　務	各種資料・様式の作成・収集・管理，情報機器の管理等に関わる事項	
	・各種資料、様式の作成	佐藤育・佐藤崇
	・公文書収受、保管	佐藤育
	・各種資料（各分掌，学年，教科等）・記録の収集、保管	土永
	・各種行事毎の記録保管（デジカメデータ等）	土永・宮川
	・校内規程集の更新	佐藤育・宮川
	・公簿（名票等）及び各種様式の作成、整備、管理	佐藤崇・土永
	・ＨＰの更新	佐藤崇
	・学校便りの発行	佐藤育・宮川
	・図書教材、管理、点検	宮川
	・情報機器及びデータの管理、点検	佐藤崇・佐藤育
教　務	学務に関わる事項	
	・教育課程の検討	佐藤育・佐藤崇
	・校務内規、申し合わせ事項の検討	佐藤育・佐藤崇
	・教務支援システムにかかわる業務	佐藤崇・佐藤育
	・時間割作成、調整、時数統計表作成、講師との連絡調整	佐藤崇・土永
	・シラバス・教科年間指導計画の集約、作成、保管	土永・佐藤崇
	・ＬＨＲ年間指導計画の集約	佐藤育・佐藤崇
	・週末課題年間指導計画の集約	佐藤育
	・定期考査時間割作成	佐藤崇・土永
	・成績不振者補習計画及び結果報告の作成、配布、集約、保管	佐藤崇・佐藤育
	・成績・通知票等の情報処理、管理	佐藤崇・佐藤育
	・成績会議資料作成	佐藤育・佐藤崇
	・生徒異動、単位修得に関わる業務	佐藤育・佐藤崇
	・教科書・補助教材等の集約、報告文書作成	佐藤崇・佐藤育
	・公開授業の企画、実施	佐藤育
	・授業評価の企画、集約	佐藤崇・佐藤育
	・選択科目ガイダンス運営	全　員
	・生徒指導要録の点検	全　員
	・教育実習の受け入れ	佐藤育

（２）生徒指導部

○重点目標

重　点　目　標	実　　施　　計　　画	留　　意　　点
１．生徒と教師の信頼関係の構築に努め、「心のふれあう」生徒指導を進める。	①　法令遵守に対する意識の向上や基本的なマナー・モラルの育成	①　校則や法令遵守の徹底 ②　挨拶や礼儀、言葉遣い、職員室等への入室指導 ③　基本的生活習慣の指導
社会人として望ましい生活習慣や社会性を身につけようとする姿勢を養う。	②　生徒との心の触れ合いや事故防止を目的とした玄関指導、巡回の実施	①　挨拶を交わすことによって、生徒の体調等の把握に努めるとともに、心の交流に努める。 ②　巡回を行い、事故防止に努める。 ③　教職員の生徒への接し方の工夫・　改善（挨拶、声かけ、言葉遣い等）
２．生徒会活動や部活動を通じ、連帯感・協調性を体得させ自主性・自律心を育成する。	①　生徒が自主的に運営できる能力を育成する。 ②　生徒会が中心となり、行事の円滑な運営を図るよう指導する。 ③　それぞれの部活動が自主的かつ活発な運営ができるように指導する。	①　様々な活動を主体的かつ円滑に進めてもらうための工夫をする。 ②　様々な活動を通してよりよい人間関係を築けるように努める。
３．校舎内外の環境の整備、美化活動に努める。	①　日常の清掃、大掃除等を通じて生徒の美化意識の高揚を図る	①　清掃は毎日行う。 ②　ゴミの分別を徹底する。
４．交通安全意識の高揚に努める。	①　登下校中や校外での事故防止の徹底を図る。 ②　自転車通学における事故防止の徹底を図る。 ③　自動車運転免許取得について説明をして、きちんとした手続きをさせる。	①　交通安全の啓蒙活動 ②　自転車通学に対する指導と安全点　検の実施 ③　自動車学校との連携
５．健康意識の向上に努める。	①　保健だよりを随時発行し、健康管理に対する意識を高める。 ②　健康に関する教室（思春期教室、薬物乱用防止教室）を実施する。	①　保健委員会による掲示物の作成等　による生徒の健康への意識の高揚 ②　他との連携
６．保護者との連携を深め、指導効果を高める。	①　あらゆる機会を活用し、家庭との連携を深める。 ②　洗心学園との連携を継続する。 ③　生徒指導部通信を定期的に発行する。	①　家庭環境の把握に努める。 ②　保護者との情報交換を図る。 ③　洗心学園指導員との情報交換を定　期的に行う。 ④　生徒の心に響くよう内容を工夫して発信する。
７．充実した高校生活を送るための教育相談を行う。	①　教育相談の充実 ②　個人面談の推進	①　生徒が精神的に落ち着くような教　育相談を行う。 ②　あらゆる機会を設け、その都度生　徒にとって効果的な面談を行う。
８．問題発生時の対応をしっかりと行う	①　迅速な事故内容の把握と指導の徹底	①　教職員がよく連携して指導に当た　る。指導の効果が得られるよう指導方法を工夫する。

○業務予定

業務予定			
月	生徒指導関係	指導部・生徒会	生徒会関係
4	・交通安全街頭指導 ・自転車安全点検 ・携帯電話安全教室（１年） ・交通安全教室	・対面式・部活動紹介指導 ・各種委員会年間活動計画作成 ・アルバイト許可 ・自転車通学許可	・対面式 ・部活動紹介 ・各委員会研修 ・生徒総会
5	・性格検査実施 ・夏服準備期間	・壮行会指導 ・学校祭計画作成 ・高体連参加	・壮行会（高体連）
6	・夏服衣替え	・学校祭実行委員会組織	・壮行会（高野連・全道）
7	・薬物乱用防止教室（２年） ・寿都神社祭典指導 ・夏季休業中の生活心得	・学校祭指導 ・学校祭反省	・学校祭（実施・反省）
8	・自動車運転免許取得に関する指導	・体育大会計画立案	
9	・交通安全街頭指導 ・冬服準備期間	・生徒会役員選挙指導 ・体育大会指導反省	・生徒会役員選挙 ・生徒会執行部研修会 ・体育大会
10	・冬服衣替え ・自動車学校通学許可	・新執行部指導 ・球技大会計画立案	・生徒会役員認証式 ・生徒会会計中間決算
11		・予餞会計画立案	
12	・冬季休業中の生活心得	・球技大会指導反省	・球技大会
H30 1		・生徒会機関誌発行準備	・予餞会指導
2			・生徒会物品監査
3	・年度末・年度初め休業中の生活心得	・対面式指導案作成 ・生徒総会指	・生徒会機関誌発行 ・生徒会会計決算・監査

業務予定			
月	保健衛生	その他	備考
4	・清掃用具点検　・始業式清掃 ・保健カード配布　・保健だより ・身体測定　・尿検査 ・心電図，胸部Ｘ線，歯科検診	・諸調査(個人調書，連絡網) ・部活動計画	
5	・内科検診 ・環境調査 ・保健だより ・宿泊研修事前健康調査(１年)	・花いっぱい運動	・学校祭職員会議
6	・保健だより	・花いっぱい運動	
7	・清掃用具点検 ・保健だより	・思春期教室	・学校祭反省
8	・保健だより	・花いっぱい運動	
9	・保健だより ・終業式清掃（前期）		
10	・始業式清掃 ・保健だより ・見学旅行事前健康調査（２年）		・家庭訪問月間（１年）
11	・定期環境調査 ・保健だより		
12	・清掃用具点検 ・保健だより		
H30 1	・保健だより（感冒調査）	・生徒会誌「海鳴り」発行準備	
2	・保健だより（感冒調査） ・環境調査		
3	・年度末清掃	・生徒会誌「海鳴り」発行	

○業務分担

係	業　　務　　内　　容	担　当　者
総　　務	年間計画・企画・運営全般に関する事項 ・公文書収受・保管・報告 ・外部団体との連携 ・特別指導 ・生徒指導部通信の発行	◎青山
	会計等に関する事項 ・高体連災害補償手続き ・生徒会会計処理 ・会計監査指導を含む	◎清水 ※藤島
生徒指導	校舎内外の規律維持と事故防止に関する事項 ・校舎内外の巡回指導の計画 ・交通安全指導の計画 ・服装・頭髪等の指導計画 ・遅刻指導 ・集会指導 ・自転車置き場の管理・指導 ・その他生徒指導全般	◎青山 鈴木
庶　　務	生活指導上の調書・諸届けの文書処理に関する事項 ・環境調査、連絡網、写真台帳の管理 ・生徒手帳の作成・配布（身分証明書の発行含む） ・各種届出の許可 アルバイト、自転車通学、祭典、自動車運転免許 ・生徒指導に関する調書の管理 ・拾得物・遺失物の管理	◎清水 ○鈴木
生 徒 会	総務・執行部 ・生徒会執行部指導 ・生徒会規約作成・改訂 ・生徒会年間計画の作成 ・生徒会行事 ・各種委員会の総括指導 ・部、同好会の設立と改廃 ・ＬＨＲ指導計画	◎清水 ○鈴木
	部活動 ・部活動の運営（活動時間・場所） ・大会参加に関わること ・部室に関わること ・部活動顧問との連絡調整 ・公式・練習試合、合宿 ・校舎使用	◎青山 ○清水
保健衛生	企画・運営に関する事項 ・保健衛生の年間計画 ・保健施設・備品等の整備 健康安全指導に関する事項 ・生徒健康診断の計画・実施 ・日本スポーツ振興センター等に関する事項 ・健康相談の計画と実施 ・校医、その他関係機関との連携に関すること ・保健関係の統計・諸表簿の整備保管 環境衛生に関する事項 ・環境衛生検査の計画・実施 ・掃除分担区域割と該当用具類の点検補充 ・大掃除等の計画と実施 教育相談に関する事項 その他保健衛生一般に関する事項 ・関係公文書等の整理保管 ・健康安全指導に関わる諸資料の整理・保管	◎佐藤祐
給　　食	給食の運営に関する事項 ・町教委、給食センター等外部機関との連携 ・搬入出、配膳、片づけ、巡回等の計画作成 ・食数の報告 ・備品の整備 ・調味料等の管理 ・事務部との連絡調整	◎佐藤祐

（3）進路指導部

○重点目標

重　点　目　標	実　施　計　画	留　意　点
1　各学年における進路指導のサポートを充実させることで、生徒の進路実現に向けた意識の向上を図り、早期からの具体的な行動を促す。	①　学年との連携強化 ②　進路ガイダンスの実施 ③　多様な進路希望に応じた個別進路相談の充実 ④　進路希望調査の実施 ⑤　進路通信の発行 ⑥　進路実現に向けた校内の掲示等の工夫 ⑦　進路のしおり「未来を拓く」の活用方法の見直	①　日頃からの担任との情報交換及び共通理解の下での進路指導の実践 ②　内容・回数の見直し、各生徒の進路希望状況に応じた実施。 ③　特別に機会を設けるのではなく、日頃からの進路相談の実施。 ④　実施方法・実施時期の見直し。 ⑤　学年別での発行。（年６回程度） ⑥　進路指導部作成のポスターの掲示等。 ⑦　デジタル版のみとし随時進路指導に活用していく。
2　進路に関する手続及び各種書類の見直しを図る。 進路指導室を整理するとともに進路情報を効果的に活用していく。	①　無駄を省いた効率的な手続・各種書類の整備 ②　過年度の資料の整理（進路指導室教員側） ③　使いやすい進路指導室（生徒側）の整備 ④　各種説明会・研究会への参加（教員）	①　担任及び生徒の負担軽減を目的として手続を簡略化する。 内容の重複した書類及び多様な受験形態に合わせた書類の見直し。 ②③　整理整頓された進路指導室の維持 ④　得た情報の共有化・生徒への情報提供を迅速に行う。
3　進路講習への参加・模擬試験・検定試験の受験を促すことで生徒の進路実現に向けた活動の機会を設定する。	①　曜日固定の進路講習の実施及び進路希望に応じた個別学　習の実施（教科への協力依頼） ②　模擬試験の計画的な実施 ③　検定取得に向けた各教科との連携	①　部活動との両立を図る。各教科と連携した個別学習の実施。（スケジュールや教室調整等） ②③　補助金の活用。 ③　検定取得を進路活動として位置付け積極的な取得を促す。
4　その他	①　進路三者面談の実施 ②　共通理解の下での面接指導の実施 ③　小論文・志望動機作成指導 ④　全教員による進路に関する承認事項の確認 ⑤　教務支援システムでの調査書作成に関するマニュアル作成 ⑥　進路決定後の生活指導	①　担任の意向を重視し、２学年の３月中旬から３学年の５月末までに実施。 ②　生徒の混乱を可能な限り避ける為に、基本的な礼法等については全教員で共通した指導にあたる。その為の研修会を実　施する。 ③　国語科教員を中心に指導していくが、学年団以外の教員にも協力してもらう。 ④　全教員での確認。 ⑤　担任・教務部との連携。 ⑥　学年団・生徒指導部との連携。

○業務予定

月	進　路　指　導　業　務
4	○　進路ガイダンス年間計画作成 ○　進路講習・模擬試験年間計画作成 ○　各種日程把握 ○　諸用紙の整備 ○　進路講習生徒向け案内配布 ○　３年進路ガイダンス① ○　進路模試
5	○　１・２学年進路ガイダンス① ○　３年進路ガイダンス② ○　進路模試
6	○　専門学校ＡＯ入試エントリー開始 ○　３年進路ガイダンス③（外部講師） ○　１・２年進路ガイダンス②（外部講師） ○　１・２年進路希望調査① ○　夏期講習の計画立案 ○　進路模試
7	○　求人票受付開始 ○　進路用写真撮影 ○　３年進路ガイダンス④（外部講師） ○　夏期講習の実施 ○　進路模試
8	○　調査書点検 ○　３年進路ガイダンス⑤ ○　１・２年進路ガイダンス③ ○　就職選考試験応募書類発送準備開始 ○　進路模試
9	○　就職選考試験応募開始 ○　就職選考試験開始 ○　推薦会議① ○　センター試験資料請求 ○　進路模試 ○　中間反省

月	進　路　指　導　業　務
10	○　専門学校出願開始 ○　校内大学入試センター試験説明会 ○　大学入試センター試験出願 ○　推薦会議② ○　専門学校推薦入試開始 ○　職安・教育局報告開始（～３月） ○　進路模試 ○　就職者合同面接会① ○　大学・短大推薦入試開始 ○　冬期講習の計画立案
12	○　１・２年進路ガイダンス④（分野別） ○　１・２年進路希望調査② ○　大学・短大一般入試出願開始 ○　冬期講習の実施 ○　進路模試
H30 1	○　大学入試センター試験 ○　国公立二次・私立大学一般入試開始 ○　冬期講習の実施 ○　進路模試
2	○　１・２年進路ガイダンス⑤ ○　進路模試 ○　年度末反省
3	○　３年進路最終状況作成 ○　生徒別検定取得一覧作成 ○　補助金利用報告 ○　次年度各種年間計画作成 ○　必要物品の購入

○業務分担

係	業　　務　　内　　容	担　当　者
総務・渉外	○　分掌・学年との連携 ○　渉外（外部・職業安定所・教育局等）との連携 ○　公文書・諸調査の報告処理 ○　進路ガイダンスの計画・実施 ○　推薦会議の計画・実施 ○　受験結果職員報告（進路状況の作成・配布） ○　各種資料の管理 ○　指定校推薦に係わる業務 ○　進路通信の発行 ○　進路希望調査の実施・集計 ○　学校説明会・進学相談会・各種研究会・企業訪問等の計画・調整 ○　諸用紙の作成・管理 ○　調査書点検 ○　出願書類発送に係わる業務	藤島
進　学	○　大学入試センター試験に係わる業務 ○　進路模試（模擬試験の案内・申込・答案発送等） ○　小論文・志望理由の指導体制の調整	藤島 清原・今野 藤島
就　職	○　求人票発行に係わる業務 ○　履歴書の指導体制の調整 ○　公務員希望者への対応 ○　就職者進路個別面談日程調整	藤島 藤島 今野・藤島 藤島
進学・就職 共通	○　進路講習の計画・日程調整・案内・集約 ○　夏期・冬期講習の計画・日程調整・案内・集約 ○　面接全体指導 ○　面接指導体制の調整 ○　出願に係わる指導 ○　進路用写真撮影 ○　受験時の身だしなみ指導 ○　合格内定体験記・受験報告書 ○　合格内定の掲示物作成・張り出し	藤島・宮川 藤島・宮川 清原・藤島 清原・藤島 藤島 宮川 藤島 宮川 宮川
その他	○　記録 ○　進路指導室の運営 ○　来客対応	全員

14　ボランティア活動計画

月	実施項目	担当者
4	全町民クリーン作戦	佐藤祐
5	花いっぱい運動①（草取り）	佐藤祐
6	花いっぱい運動②（苗植え）	佐藤祐
	しりべし学園分校「運動会」	佐藤祐
	前期ジュニア水泳教室	藤　島
	しおさい学園「学園祭」	藤　島
	しりべし学園「ふれあいまつり」	佐藤祐
7	花いっぱい運動③（草取り）	佐藤祐
8	寿都町学生ボランティア学習サポート事業	佐藤育
	寿都保育園「プール学習」	佐藤祐
9	花いっぱい運動④（草取り）	佐藤祐
11	しりべし学園分校「学習発表会」	佐藤祐
	後期ジュニア水泳教室	藤　島
	寿都保育園「発表会」	佐藤祐
H30 1	寿都町学生ボランティア学習サポート事業	佐藤育
2	除雪ボランティア	青　山

15　各学年年間計画

（1）第1学年

重　点　目　標	実　施　計　画	留　意　点
1　基本的生活習　慣の定着とけじめある生活	＜生活面＞ 1　安易な遅刻や早退をさせない。 2　校則を理解させ、守らせる指導。（頭髪・服装等） 3　言葉遣いやあいさつなどの指導を日常的に行う。 4　学校行事や諸活動を通じて責任感を育成する。 5　集会、講演等での「聞く態度」を育成する。 6　公共物を大切にする意識を高める。 7　思いやりや感謝の気持ち、奉仕の心を身につけさせる。	・保護者、生徒指導部との連携 ・朝の挨拶や職員室等への入室指導 ・発達段階に応じた適切なしつけ指導 ・ゴミの分別指導
2　授業規律を確　立し、自己教育力を育成する中で学力向上を図る	＜学習面＞ 1　ベル着席の徹底を図り、規律のある授業を確立し、落ち着いた雰囲気の中で授業に臨ませる。 2　自ら学ぶ姿勢を促し、自己教育力の育成に努める。 3　授業に積極的に臨む態度の育成を図る。 4　基礎学力の向上を図り、指導の充実に努める。 5　教科担任との連携を密にして、授業態度、学力不振、欠課時数等の把握に努め、早期指導にあたる。 6　家庭学習や読書の習慣化を図る。	・教務部、教科担任、保護者との連携 ・基礎基本の個別指導、ｅラーニングの活用 ・教科書の持ち帰り指導 ・週末課題の実施
3　進路目標の確　立と具体化	＜進路＞ 1　発達段階に応じた進路指導に配慮し、進路意識の高揚を生み出す進路指導を行い、早期に進路目標の確立を図る。 2　進学講習、各種検定、資格取得、模擬試験に対する積極姿勢を育成する。	・進路指導部、保護者との連携 ・個人面談、三者面談の実施による進路意識の啓発 ・進学者に向けた組織的学力向上対策
4　対人スキルの　向上	＜健康面＞ 1　ＬＨＲ等を活用して他を尊重する力、自己の考えの伝え方を育成する。 2　日常的に教室へ出向き生徒と交流を深めながら、生徒の心身の状況を把握する。 3　生徒の抱える問題を的確に捉え、個々のつまずき、不安を払拭する。	・保護者、養護教諭、各関係機関との連携 ・積極的な校内巡視
5　その他	1　家庭訪問等を通じて保護者との連携を密にする。 2　教科担任・養護教諭との連携・情報交換を密にする。 3　部活動、生徒会活動への主体的参加・活動を促す。 4　通信などで生徒の姿や学年の取り組み内容を保護者に公開する。 5　実りある宿泊研修を実施する。	

業　務　内　容			
前　　期		後　　期	
4月	・前期クラス役員選出 ・個人面談	10月	・後期クラス役員選出 ・社会見学
5月	・前期中間考査事前指導 ・スタディサポート ・進路ガイダンス①②	11月	・後期中間考査事前指導
6月	・夏服着用指導 ・前期中間考査事後指導 ・学校祭準備のサポート	12月	・後期中間考査事後指導 ・進路ガイダンス④ ・冬季休業生活指導
7月	・夏季休業生活指導	H30 1月	・個人面談
8月	・前期期末考査事前指導 ・進路ガイダンス③	2月	・学年末考査事前指導 ・進路ガイダンス⑤⑥
9月	・前期期末考査事後指導 ・社会見学準備	3月	・学年末考査事後指導 ・次年度に向けた学習・生活指導

（2）第２学年

重　点　目　標	実　施　計　画	留　意　点
1　進路活動に生かせる礼儀・基本的生活習慣の確立	1　言葉遣いや挨拶など生活態度についての指導を日常的に行う。 2　生徒が校則を自主的に守る指導を行う。 3　安易な欠席・遅刻・早退をさせない。 4　美化意識の向上を目指す。	・生徒指導部、保護者との連携 ・発達段階に応じた適切な生活指導
2　基礎学力・学習意欲の向上と家庭学習の習慣化	1　教科担任との連携を密にし、規律のある授業を確立し、落ち着いた雰囲気の中で授業に臨ませる。 2　学習に積極的に臨む態度と基礎学力の育成を図る。 3　自ら学ぶ姿勢を大切にし、自己教育力の育成に努める。 4　高学力層と低学力層への柔軟な学習指導に努める。 5　家庭学習の習慣化を図る。	・教務部、教科担任、保護者との連携 ・週末課題の声かけ
3　具体的な進路活動の実行	1　前年度の個々の進路活動を土台に、早期から具体的な進路活動を進める。 2　進学講習、各種検定、資格取得、模擬試験に積極的に参加する姿勢を育成する。 3　学習活動と進路活動を結び付けた指導に努める。 4　インターンシップを通して、適切な勤労観・職業観・社会的スキルを養う。 5　自己理解と自己肯定感の育成を行う。	・今年度の取り組みの重要性を理解させる指導 ・インターンシップでの事前準備 ・事後指導 ・模試への積極的な参加
4　対人スキルの向上	1　ＬＨＲ等を活用して他を尊重する力、自己の考えの伝え方を育成する。 2　日常的に教室へ出向き生徒と交流を深めながら、生徒の心身の状況を把握する。 3　生徒の抱える問題を的確に捉え、個々のつまずき、不安を払拭する。	・積極的な校内巡視 ・個人面談 ・学校行事のサポート
5　その他	1　通信を通して生徒の姿や学年の取り組み、担任の考えを　積極的に保護者に伝える。 2　教科担任、養護教諭との連携・情報交換を密にする。 3　生徒が主体となり、実りある見学旅行を実施する。	

業　務　内　容			
前　　期		後　　期	
4月	・前期クラス役員選出 ・個人面談	10月	・クラス役員選出 ・インターンシップ事前・事後指導 ・見学旅行準備
5月	・個人面談 ・前期中間考査事前指導 ・進路ガイダンス①	11月	・見学旅行 ・後期中間考査事前指導
6月	・夏服着用指導 ・前期中間考査事後指導（個別） ・選択科目ガイダンス ・進路ガイダンス②	12月	・後期中間考査事後指導（個別） ・冬季休業生活指導 ・進路ガイダンス④
7月	・夏季休業生活指導	H30 1月	・個人面談
8月	・前期期末考査事前指導 ・進路ガイダンス③	2月	・学年末考査事前指導 ・進路ガイダンス⑤⑥
9月	・前期期末考査事後指導（個別） ・インターンシップ事前指導 ・見学旅行準備	3月	・学年末考査事後指導（個別） ・次年度に向けた学習・生活指導 ・三者面談

（3）第３学年

重　点　目　標	実　施　計　画	留　意　点
1　社会を意識した礼儀や生活習慣の確立	1　言葉遣いや挨拶などの指導を日常的に行う。 2　時間に余裕を持った行動を意識させる。 3　期限を守ることを徹底させる。 4　書類の扱い方についての指導。	・生徒指導部、保護者との連携
2　基礎学力の向上と家庭学習の習慣化	1　規律のある授業を確立し、落ち着いた雰囲気の中で授業に臨ませる。 2　自ら学ぶ姿勢を大切にし、自己教育力の育成に努める。 3　基礎学力の向上を図り、指導の充実に努める。 4　教科担任との連携を密にし、授業態度、学力不振、欠課時数の把握に努め、早期指導にあたる。 5　時間の使い方を考えさせ、家庭学習の習慣化を図る。	・教務部、教科担任、保護者の連携
3　進路活動に向けた活動	1　進学講習、各種検定、資格取得、模擬試験に対する積極姿勢を育成する。 2　保護者や教員にやらされている進路活動ではなく、自ら考えて行動するよう指導していく。 3　早期の進路スケジュールの作成。 4　LHR・総合的な学習の時間等の進路別活動で同じ目標に向かうことで意識の向上を図る。 5　一般受験に向けた勉強会や自習室の開放。	・進路指導部、教員全員、保護者との連携
4　対人スキルの向上	1　ＬＨＲ等や学校行事を通して自分の損得だけでなく、善悪の判断ができるよう指導していく。 2　日常的に教室へ出向き生徒と交流を深めながら、生徒の心身の状況を把握する。 3　生徒の抱える問題を的確に捉え、個々のつまずき、不安を払拭する。 4　ネットトラブルの事前防止のための注意喚起を定期的に行っていく。	・積極的な校内巡視 ・個人面談 ・学校行事のサポート
5　保護者との連携	1　適宜、保護者と三者面談など連絡をとりながら、生徒の進路実現をともに目指す	

業　務　内　容			
前　　期		後　　期	
4月	・進路三者面談 ・進路ガイダンス① ・進路模試	10月	・専門学校出願開始クラス役員選出 ・推薦会議②．進路模試 ・大学入試センター試験出願
5月	・進路三者面談 ・進路ガイダンス② ・進路模試	11月	・就職者合同面接会（札幌） ・後期中間考査
6月	・進路三者面談 ・進路ガイダンス③、進路模試 ・前期中間考査	12月	・総合学習発表会 ・冬季休業勉強会 ・進路模試
7月	・求人票受付開始 ・進路ガイダンス④ ・進路模試、夏季講習	H30 1月	・冬季休業勉強会 ・大学入試センター試験 ・卒業考査
8月	・夏季講習 ・進路ガイダンス⑤、進路模試 ・赤ちゃんふれあい体験	2月	・卒業式予行 ・同窓会入会式
9月	・就職応募開始・就職選考試験開始 ・推薦会議①、進路模試 ・前期期末考査	3月	・卒業式

16　教科指導課題

教科	重　点　目　標	実　践　項　目
国語科	基礎的な能力を身につけさせるとともに、思考力・表現力を向上させる。	1 小テストの実施と、個に応じた学習指導（個別の課題など）を行う。 2 ペア活動、グループ活動を取り入れ、他者との意見交流を図る。 3 指導と評価の一体化を図る。
地歴科	世界の人々の生活や文化に関する地域的特色や課題を理解し、地理的・歴史的な見方や考え方を培い、主体的に考える力を身に付けさせる。	1 内容を精選し、基本的事項の理解と定着を図る。 2 地理・歴史への興味・関心を高めるために教材等を工夫する。 3 国や地域の関わり、過去と現代の対比など、現代社会との関連を意識した構成に努める。
公民科	現代社会の仕組みや課題を理解し、これからの社会を主体的に形成するために必要な公民的資質を育てる。	1 内容を精選し、基本的事項の理解と定着を図る。 2 公民分野への興味・関心を高めるために教材等を工夫する。 3 新聞記事などを活用し、現実の社会の動きに関心を持たせる工夫を行う。
数学科	基礎的な内容を中心に展開し、数学的な見方や考え方を身に付けさせる。	1 基礎・基本の充実と定着を目指す。 2 数学への興味・関心を高めるような授業の展開を行う。 3 個に応じた学習指導を行う（１、２年習熟度別授業、進学講習）。
理科	自然の事物・現象に対して関心を深め、探求しようとする態度を育て、科学的な見方、考え方を養う。	1 内容を精選し、基礎・基本の定着を図る。 2 興味・関心を持ち実生活に結びついた教材・実験を取り入れる。 3 本質的な実験の実施を通して、実証的（科学的）態度を養うとともに、器具や薬品の取り扱い方なども修得させる。
保健体育科	各種運動の合理的実践により運動能力を高めるとともに、公正・協力・責任などの態度を育て、心身ともに健康な生徒の育成を図る。	1 選択制授業など生徒が主体的に取り組む授業の研究と実践 2 授業と評価の一体化を図る指導方法の研究と実践 3 積極的なコミュニケーションによる雰囲気のよい集団作り 4 地域の特性を生かした教材（スキー学習）の円滑な運営
芸術科	「書くこと」を通じて、書道に対する関心を高める。	1 硬筆から毛筆へと発展させる。 2 基本点画や用筆・運筆を身に付けさせる。 3 臨書から創造へと発展させる。 4 日常生活において、書の心（言葉遣い等）との関わりを深める。
英語科	基礎学力の定着を図るとともに、自ら学習しようとする態度や実践力を養う。	1 各課の重点指導項目を明らかにし、基本事項の徹底を図る。 2 実践的・活動的な授業を通して、主体的に学ぶ態度を養う。 3 他者の意見を尊重しながら、自己の考えを表現する力を育成する。
家庭科	生活における様々な事象を系統的に関連付けて学習し、成果を適切に活用しようとする意欲を養う。	1 自己理解に基づく自立と共生・協働を目指そうとする意欲を養う。 2 生活に関する知識や情報を取捨選択し、適切に活用できる力を養う。 3 生活者としての知識・技術を身に付けさせ、実践力を高める。 4 授業において、個に応じた学習指導（基礎-標準-発展）を行う。
商業科	基礎的・基本的な知識の定着を図り、応用する力を身に付けさせる。	1 確認小テストを毎週行うことで確実な定着を図る。 2 指導と評価の一体化により、生徒の理解度を把握し、授業の改善につなげる。
情報科	基礎的・基本的な操作の定着を図り、応用する力を身に付けさせる。	1 類似した問題に取り組むことによって、基礎的・基本的な操作の確実な定着を図る。 2 「やればできる」を実感させることによって、パソコン操作に対する抵抗感を軽減させる。

17　「総合的な学習の時間」全体計画

1　（目的）　横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の在り方生き方を考えることができるようにする。

2　（ねらい）（１）将来を見通し計画・実行する力の育成　（２）他者と協同する能力の育成
（３）自己理解と職業観の育成　（４）情報機器活用能力の育成

【１学年】

時	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
月	4	4	5	5	6	7	7	8	9	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	11	11	11	11	12	12	12	12	12	12	12	3
テーマ	オリエンテーション	高校生活の目標と計画	宿泊研修を終えて	自己理解	科目選択を考える	進路について考える	進路について考える	社会見学希望調査	これまでの高校生活を振り返る	社会見学準備	社会見学準備	社会見学準備	社会見学	社会見学	社会見学	社会見学	社会見学	社会見学	社会見学まとめ	プレゼン資料作成	プレゼン資料作成	プレゼン資料作成	プレゼン資料作成	発表会準備	発表会準備	発表会準備	発表会準備	発表会準備	総合学習発表会	総合学習発表会	総合学習発表会	総合学習発表会	合同発表会	合同発表会	次年度に向けて
備考																													体育館				ウィズコム	

【２学年】

時	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
月	4	6	8	9	9	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	11	11	11	11	11	12	12	12	12	12	12	1
テーマ	オリエンテーション	インターンシップ希望調査	インターンシップ事前指導	インターンシップ事前指導	インターンシップ事前指導	インターンシップ事前指導	インターンシップ事前指導	インターンシップ	インターンシップ	インターンシップ	インターンシップ	インターンシップ	インターンシップ	インターンシップ	インターンシップ	インターンシップ	インターンシップ	インターンシップ	インターンシップ	プレゼン資料作成	プレゼン資料作成	プレゼン資料作成	プレゼン資料作成	プレゼン資料作成	発表会準備	発表会準備	発表会準備	発表会準備	発表会準備	総合学習発表会	総合学習発表会	総合学習発表会	総合学習発表会	合同発表会	合同発表会	次年度に向けて
備考																													体育館				ウィズコム		

【３学年】

時	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
月	4	4	4	5	5	5	6	6	6	6	6	7	7	7	8	8	9	9	9	9	10	10	10	10	11	11	11	11	12	12	12	12	12	12	12
テーマ	オリエンテーション	進路課題研究	進路課題研究	進路課題研究	進路課題研究	進路課題研究	進路課題研究	進路課題研究	進路課題研究	進路課題研究	進路課題研究	進路課題研究	進路課題研究	進路課題研究	進路課題研究	進路課題研究	進路課題研究	進路課題研究	進路課題研究	進路課題研究	進路課題研究／プレゼン資料作成	進路課題研究／プレゼン資料作成	進路課題研究／プレゼン資料作成	進路課題研究／プレゼン資料作成	進路課題研究／プレゼン資料作成	進路課題研究／発表準備	進路課題研究／発表準備	進路課題研究／発表準備	進路課題研究／発表準備	総合学習発表会	総合学習発表会	総合学習発表会	総合学習発表会	レクリエーション	レクリエーション
備考																														体育館					

18 「特別活動」全体計画

【北海道教育推進計画】
○豊かな感性を育む教育と道徳教育の充実 ○体験的な活動の充実 ○生徒指導・教育相談の充実 ○人権教育・男女平等教育の充実

【学校教育目標】
(1)意欲的に学習し、自己を向上させる (2)豊かな心を育み、個性を伸長させる (3)人格を尊重し、相互に敬愛する精神を養う (4)充実した気力と体力を養う

【関係法令等】
○日本国憲法 ○教育基本法 ○学校教育法 ○学習指導要領及び学習指導要領解説（文部科学省） ○高等学校教育課程編成・実施の手引き（道教委）

【保護者・地域の要望】
○礼儀・挨拶といった社会的なマナーを身につけてほしい。 ○社会人として自立できるように自主性を身につけてほしい。

【特別活動の重点目標】
(1)集団や社会の一員として、よりよい生活や人間生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。 (2)人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う。

【生徒の実態】
○学校内での規範意識は身についているが、学校外ではだらしなくなっている生徒もいる。 ○自分の意思を相手に伝えることを不得手にしている生徒が多い。

【ホームルーム活動の内容】
(1)ホームルームや学校の生活づくり ・集団の一員として、役割と責任を果たし、互いに良さを認める「望ましい人間関係」を育てる。 ・生活の中で起こる様々な課題を解決していこうとする「自主的、実践的な態度」を育てる。 ・社会的自立に向けて、集団や社会の一員としての在り方や主体的に物事を選択決定できる「健全な生活態度」を育てる。 (2)適応と成長及び健康安全 ・健全な生活態度や、規律ある習慣の形成を図る資質や能力を身につけ、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、社会の中で自己を正しく生かす能力や態度を育てる。 (3)学業と進路 ・自ら進んで学習に取り組む意欲や、自己の個性や学習の成果を生かす進路を自らの意志と責任で選択する能力や態度を育てる。

【生徒会活動の内容】
(1)生徒会の計画や運営 ・生徒会活動を通して、学校生活における規律や、よりよい校風を確立するなど、学校生活の充実や向上を目指す実践的な態度を育てる。 (2)異年齢集団による交流 ・ホームルームや学年を超えた生徒相互の心の交流を図り、全生徒の間に所属感や連帯感を高める。 (3)生徒の諸活動についての連絡調整 ・ホームルーム活動が活性化されるよう、生徒会の連絡調整機能を援助し、生徒会活動に対する生徒の関心・意欲を高める。 (4)学校行事への協力 ・生徒が学校行事の趣旨を理解し、諸行事に参加・協力することにより、生徒会活動における役割について自覚や責任感を培う。 (5)ボランティア活動などの社会参画 ・ボランティア活動や地域の人々との交流行事に参加することで、人間性を養い、自己実現の力を育む。

【学校行事の内容】
(1)儀式的行事 ・儀式を通して集団の場における規律や気品ある態度を育て、公共の精神を養う。 (2)文化的行事 ・豊かな情操を養い、生涯にわたり文化や芸術に親しみ、その継承や創造に寄与する態度や能力を育てる。 (3)健康安全・体育的行事 ・自主的・自律的に健康で安全な生活を送る意欲や態度、自他の生命を尊重し、心身の健康や安全を確保するための適正な判断力や対処する能力を育て (4)旅行・集団宿泊的行事 ・集団行動を通して自律心を養い、自主的に集団の規律や秩序を守る態度を育成する。 (5)勤労生産・奉仕的行事 ・社会奉仕の精神を身につけ、将来の社会人として自立していくための態度や能力を育てる。

【各教科・科目や総合的な学習の時間との関連】
・各教科・科目や総合的な学習の時間などで育成された能力と特別活動で培われた実践的な態度　や能力とを相互に関連させ、それぞれの学習活動を補い合い、学校教育目標の達成を目指す。

【生徒指導の機能との関連】
・生徒指導の機能が有効に働くように、特別活動において共感的な人間関係を育成し、生徒に自　己決定の場や機会をより多く用意し、生徒が自己実現の喜びを味わうことができるよう指導上　の配慮を行う。 ・特別活動の指導を、計画的・継続的な教育相談などの個別場面における指導でも展開し、生徒　指導のねらいである自己指導能力や自己実現のための態度や能力を育成する。

19　年間ロングホームルーム計画

回	第１学年			第２学年			第３学年		
	実施日	曜日	主題	実施日	曜日	主題	実施日	曜日	主題
1	4月11日	(火)	学校生活について【生】	4月10日	(月)	ＨＲ役員選出①【生】	4月10日	(月)	ＨＲ役員選出①【生】
2	4月19日	(水)	生徒総会議案審議【生】	4月11日	(火)	進路学習①	4月11日	(火)	進路別活動
3	4月20日	(木)	宿泊研修準備/写真撮影	4月19日	(水)	生徒総会議案審議【生】	4月19日	(水)	進路ガイダンス①【進】
4	5月8日	(月)	スタディサポート	4月20日	(木)	進路学習②/写真撮影	4月20日	(木)	生徒総会議案審議【生】
5	5月10日	(水)	ハイパーＱＵ検査①【生】	5月10日	(水)	ハイパーＱＵ検査①【生】	5月10日	(水)	ハイパーＱＵ検査①【生】
6	5月11日	(木)	進路ガイダンス①【進】	5月11日	(木)	進路ガイダンス①【進】	5月17日	(水)	進路ガイダンス②【進】
7	5月17日	(水)	考査に向けて	5月17日	(木)	進路学習③	5月31日	(水)	前期中間考査に向けて
8	5月31日	(水)	進路学習①	5月31日	(水)	進路学習④	6月15日	(水)	進路ガイダンス③【進】
9	6月14日	(水)	選択科目ガイダンス【教】	6月14日	(水)	選択科目ガイダンス【教】	6月21日	(水)	進路別活動
10	6月21日	(水)	進路ガイダンス②【進】	6月21日	(水)	進路ガイダンス②【進】	6月28日	(水)	学校祭に向けて
11	6月28日	(水)	学校祭に向けて	6月28日	(水)	学校祭に向けて	6月30日	(金)	学校祭準備①【生】
12	6月30日	(金)	学校祭準備①【生】	6月30日	(金)	学校祭準備①【生】	7月3日	(月)	学校祭準備②【生】
13	7月3日	(月)	学校祭準備②【生】	7月3日	(月)	学校祭準備②【生】	7月4日	(火)	学校祭準備③【生】
14	7月4日	(火)	学校祭準備③【生】	7月4日	(火)	学校祭準備③【生】	7月5日	(水)	学校祭準備④【生】
15	7月5日	(水)	学校祭準備④【生】	7月5日	(水)	学校祭準備④【生】	7月5日	(水)	進路ガイダンス④【進】
16	7月6日	(木)	学校祭準備⑤【生】	7月6日	(木)	学校祭準備⑤【生】	7月6日	(木)	学校祭準備⑤【生】
17	8月24日	(木)	進路ガイダンス③【進】	8月24日	(木)	進路ガイダンス③【進】	7月12日	(水)	求人票検索
18	8月30日	(水)	体育大会メンバー選出【生】	8月30日	(水)	体育大会メンバー選出【生】	7月19日	(水)	進路別活動
19	9月13日	(水)	ハイパーＱＵ検査②【生】	9月13日	(水)	ハイパーＱＵ検査②【生】	8月23日	(水)	進路ガイダンス⑤【進】
20	9月27日	(水)	進路学習②	9月27日	(水)	進路学習⑤	8月30日	(水)	体育大会メンバー選出【生】
21	10月4日	(水)	ＨＲ役員選出【生】	10月4日	(水)	ＨＲ役員選出【生】	9月1日	(金)	前期期末考査に向けて
22	10月18日	(水)	進路学習③	10月18日	(水)	見学旅行準備①	10月4日	(水)	ＨＲ役員選出【生】
23	10月25日	(水)	進路学習④	10月25日	(水)	見学旅行準備②	10月18日	(水)	進路別活動
24	11月1日	(水)	進路学習⑤	11月1日	(水)	見学旅行準備③	10月25日	(水)	進路別活動
25	11月8日	(水)	進路学習⑥	11月6日	(月)	見学旅行準備④	11月1日	(水)	進路別活動
26	12月6日	(水)	進路ガイダンス④【進】	12月6日	(水)	進路ガイダンス④【進】	11月28日	(火)	後期中間考査に向けて
27	12月6日	(水)	進路ガイダンス④【進】	12月6日	(水)	進路ガイダンス④【進】	12月6日	(水)	進路別活動
28	12月8日	(金)	球技大会メンバー選出【生】	12月8日	(金)	球技大会メンバー選出【生】	12月8日	(金)	球技大会メンバー選出【生】
29	12月14日	(木)	予餞会準備①【生】	12月14日	(木)	予餞会準備①【生】	12月14日	(木)	進路別活動
30	H30 1月18日	(水)	予餞会準備②【生】	H30 1月18日	(水)	予餞会準備②【生】	H30 1月18日	(水)	進路別活動
31	1月24日	(水)	予餞会準備③【生】	1月24日	(水)	予餞会準備③【生】	1月24日	(水)	校歌指導【教】
32	1月30日	(火)	予餞会準備④【生】	1月30日	(火)	予餞会準備④【生】	1月31日	(水)	家庭学習期間の生活
33	2月15日	(木)	進路ガイダンス⑤【進】	2月15日	(木)	進路ガイダンス⑤【進】			
34	2月21日	(水)	校歌指導【教】	2月21日	(水)	校歌指導【教】			
35	3月15日	(木)	次年度へ向けて	3月15日	(木)	次年度へ向けて			

※【教】：教務部，【生】：生徒指導部，【進】進路指導部

20 「道徳教育」全体計画

【道徳教育推進体制】	【学校教育目標】	【関係法令等】
○生徒指導部 ○教務部 ○総合学習実施委員会	(1)意欲的に学習し、自己を向上させる (2)豊かな心を育み、個性を伸長させる (3)人格を尊重し、相互に敬愛する精神を養う (4)充実した気力と体力を養う	○日本国憲法 ○教育基本法 ○学校教育法 ○学習指導要領及び学習指導要領解説（文部科学省） ○高等学校教育課程編成・実施の手引き（道教委）

【保護者・地域の要望】	【道徳教育の重点目標】	【生徒の実態】
○礼儀・挨拶といった社会的なマナーを身につけてほしい。 ○社会人として自立できるように自主性を身につけてほしい。	(1)自他の生命を尊重する精神を養う。 (2)自律の精神及び社会連帯の精神を養う。 (3)義務を果たし責任を重んずる態度を養う。	○学校内での規範意識は身についているが、学校外ではだらしなくなっている生徒もいる。 ○自分の意思を相手に伝えることを不得手にしている生徒が多い。

【各教科・科目や総合的な学習の時間との関連】

・「現代社会」では、社会の在り方を考察する基盤として、幸福、正義、公正等について理解させ、倫理、社会、文化、政治、法、経済、国際社会にかかわる現代社会の諸課題を取り上げて考察させる中でさらに理解を深めさせる。
・「国語科」においては、国語による表現力と理解力とを育成するとともに、人間と人間との関係の中で、互いの立場や考えを尊重しながら言葉で伝え合う力を高める。
・「地理歴史科」においては、我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての理解と認識を深めさせる。
・「数学科」においては、事象を数学的に考察し筋道を立てて考え、表現する能力を高める。
・「理科」においては、自然の事物・現象を探究する活動を通して、地球の環境や生態系のバランスなどの事象を理解させ、自然と人間とのかかわりについて理解を深めさせる。
・「体育科」においては、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとする態度の育成を図る。
・「芸術科」においては、芸術を愛好する心情を育て、感性を高める。
・「外国語科」においては、外国語を通じて我が国や外国の言語や文化に対する理解を深めさせる。
・「家庭科」においては、生活に必要な知識や技術を習得させ、望ましい生活習慣を身に付けさせるとともに、勤労の貴さや意義を理解させる。
・「情報科」においては、情報に関する科学的な見方や考え方を養うとともに、情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度を身に付けさせる。
・「総合的な学習の時間」においては、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の在り方、生き方を考えることができるようにする。
・「特別活動」については、ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事を通して、よりよい人間関係を築く力、集団や社会の一員としてよりよい生活づくりに参画する態度の育成を図る。

【生徒指導等における関連】	【学校の環境の充実】
生徒指導の機能が有効に働くように、特別活動において共感的な人間関係を育成し、生徒に自己決定の場や機会をより多く用意し、生徒が自己実現の喜びを味わうことができるよう指導上の配慮を行う。	生徒会活動、学校行事やホームルーム活動を通して、道徳教育の目指すべき目標に近づけるように、各分掌、各学年が組織的に運営していく。

【家庭・地域との連携】	【異校種との連携】
規範意識をもった生徒を育成できるように家庭にも協力を求めていく。また、海岸清掃や花いっぱい運動等、地域のボランティア活動に参加することによって、地域社会の一員としての自覚を持ち、環境の保全に貢献できるような態度の育成を図る。	しりべし学園余市分校との交流学習を通し、様々な人と触れあう中で、協調の精神や思いやりの心を身に付け、自他の生命を尊重できできるような態度の育成を図る。

21　校内研修課題

目的	本校の様々な課題を適切に把握するとともに、その効果的な解決のための相互研修を深めることにより、本校教職員の意識の高揚と必要な指導力を身に付ける	
研修内容	（1）各教科の指導法や評価法を研究し、学習意欲を高める指導法を研修する （2）多種多様化する生徒指導のあり方と、適切な指導方法を研修する （3）個別進路指導の充実と組織的な進路指導法を研修する。	
各部課題	教　務　部	・授業改善と校内研修の充実による学力向上 ・多様な進路希望と地域のニーズに対応した魅力ある教育課程の検討 ・学校だよりやＨＰの充実による、積極的な情報発信
	生徒指導部	・生徒理解を基本とした生徒指導の推進 ・基本的生活習慣や授業規律の確立 ・いじめ、ネットトラブルや非行等の未然防止
	進路指導部	・個別進路指導の組織化 ・生徒の向上心の高揚と具体的な目標設定・進路スケジュールの作成 ・進路に関わる諸手続きの整備 ・小論文・履歴書作成・面接練習等、早期からの具体的な取組の促進 ・合格決定後の生徒指導 ・特別支援を必要とする生徒の進路支援の在り方
各教科課題	国　語　科	・基礎的な語彙力を身につけ、読解力・表現力を向上させるための指導方法の工夫
	地　歴　科	・地理的な基礎、歴史的な思考力を培うための授業を工夫する
	公　民　科	・生徒が興味関心をもって取り組み、かつ公民的な基礎の定着を図る授業の工夫をする
	数　学　科	・基礎学力の向上と定着を図るとともに、数学的活動を通して生徒が数学的に考える力を伸ばしていく
	理　　科	・生徒が意欲をもって取り組み、興味・関心を持つ授業や実験の工夫を図る
	保健体育科	・運動や健康に興味・関心を持ち、意欲的に実践していく
	芸　術　科	・「書くこと」に興味をもたせ、創作意欲を高めるための指導方法の工夫
	英　語　科	・生徒主体の活動的な授業展開と自己表現力を高めるための指導方法の工夫
	家　庭　科	・家庭科における観点別評価の研究と、授業における個に応じた指導方法の工夫
	商　業　科	・指導と評価の一体化の実践
	情　報　科	・指導と評価の一体化の実践

22　学校保健安全計画

（1）学校保健計画

○重点目標　保健教育・保健管理を充実・徹底し、生徒の心身の健康の保持増進を図るとともに、生涯にわたる健康生活の主体的な実践力の育成を図る

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	H30．1	2	3
月の重点		健康診断を正しく受け、健康状態を把握しよう 健康課題を捉え、それらを解決するための行動様式を考え実践しよう		歯と口腔の健康について考えよう	喫煙・飲酒・薬物乱用による健康被害を理解しよう	基本的生活習慣の定着を図ろう 夏季の健康管理を徹底しよう	けが予防と救急処置の方法を知ろう	目・耳・鼻など感覚器の健康について考えよう	心の健康について理解を深めよう	冬季の健康管理と環境整備を徹底しよう 性と生について考えよう	社会生活と健康の関わりを考えよう	人との関わりについて考えよう	1年間の生活を振り返ろう
関連行事		入学式・始業式 対面式 宿泊研修 生徒総会 PTA総会 参観日 自転車通学指導	壮行会 高体連 防災避難訓練 ハイパーQU	前期中間考査 衣替え 遠足 思春期教室 食育指導① 衛生管理・食中毒予防講習	学校祭 全校集会 思春期教室	全校集会 赤ちゃんふれあい体験 食育指導②	前期期末考査 球技大会 終業式	職員健康診断 始業式 衣替え 防災避難訓練 インターンシップ 食育指導③	見学旅行 後期中間考査	球技大会 全校集会	全校集会 食育指導④ 卒業考査 予餞会	スキー遠足 後期期末考査	卒業式 心肺蘇生実技講習 終業式
		←生徒定期健康診断→											
保健管理	対人管理	防災計画立案 通学路の確認 緊急時の対応について確認 救急体制の確認 通学状況確認 アルバイト調査 自転車点検 学年末休業中の事故状況の把握 宿泊研修に伴う安全管理		遠足に伴う安全管理 学校祭に伴う安全管理	学校祭に伴う安全管理 夏季休業中の安全管理	夏季休業中の事故状況の把握	球技大会に伴う健康管理	インターンシップに伴う安全管理	見学旅行に伴う安全管理	冬季休業中の安全管理	冬季休業中の事故状況の把握 スキー授業に伴う安全管理	スキー遠足に伴う安全管理 **今年度の学校保健に関する評価反省** **新年度学校保健計画立案** **新年度生徒健康診断計画立案** **新年度保健室経営計画立案**	卒業式に伴う安全管理 学期末休業中の安全管理
							←職員健康診断の事前準備・実施・精密検査の事前準備・実施・事後処理→						
		←生徒定期健康診断の実施と事後処理及び・事後措置→ **健康観察・健康相談の実施、部活動に伴う健康管理** **←公立学校共済健診事業（人間ドック・脳ドック・婦人がん検診・配偶者人間ドック）事務処理→**											
	対物管理	清掃計画作成 清掃用具整備 ゴミ分別指導 年度初め大掃除	水質検査 空気検査 花壇整備	宿泊研修清掃計画 プール清掃	大掃除 清掃用具整備	大掃除		水質検査 大掃除 校舎外清掃	見学旅行清掃計画 花壇整備		照度検査	臨時清掃区域設	大掃除 清掃用具整備 照度検査
									温度・湿度対策→				
		保健室関係医薬・消耗品の整備→											
保健教育	保健学習 教科保健	①健康水準と病気の傾向、健康の捉え方 ②思春期における心身の発達と健康、性意識と性行動の選択	①健康と意思決定・行動選択、日常の生活行動と生活習慣病 ②思春期における心身の発達と健康、性意識と性行動の選択	①喫煙と健康、飲酒と健康 ②健康な結婚生活、妊娠・出産と健康、家族計画と人工妊娠中絶	①薬物乱用と健康、医薬品と健康 ②健康な結婚生活、妊娠・出産と健康、家族計画と人工妊娠中絶	②加齢に伴う心身の変化と健康	①感染症とその予防、現代の感染症とその予防 ②我が国の保健・医療制度	①エイズとその予防 ②大気汚染と健康、水質汚染と健康、土壌汚染と健康　拡がる環境汚染	①欲求と適応機制、心身の相関とストレス ②食品保健に関わる活動、健康保持増進のための環境と食品保健	①自己実現 交通安全の現状と要因	①運転者の資質と責任、安全な交通社会づくり	①②応急手当、心肺蘇生法の意義と原理	①②心肺蘇生法実技
	保健学習 関連教科・領域等	②生物：多様性と共通性 ②家庭：人生を拓く ③家庭：衣生活	②生物：生命活動とエネルギー ②家庭：人生を拓く ③家庭：衣生活	①現社：豊かな生活と福祉社会、現代の社会生活 ②生物：遺伝子 ②家庭：人生を拓く ③家庭：衣生活	①現社：青年期を生きる ②生物：遺伝情報の分配 ②家庭：食生活 ③家庭：衣生活	②生物：遺伝情報とタンパク質の合成 ②家庭：食生活 ③消費生活	①現代の暮らしと福祉 ②生物：体内環境 ②家庭：食生活 ③消費生活	②生物：体内環境の調節 ②家庭：食生活 ③消費生活	①生物：免疫 ②家庭：食生活 ③消費生活	②生物：植生の多様性と分布 ②家庭：保育 ③家庭：住生活	②生物：気候とバイオーム ②家庭：保育 ③家庭：住生活	②生物：生態系とその保全 ②家庭：保育	②生物：生態系とその保全 ②家庭：保育
	保健指導	保健室の利用について ←健康診断の事前事後指導→	健康観について	歯の健康につい	水泳について 飲酒・喫煙・薬物乱用について	夏の健康について	生活習慣について けがについて	目・耳・鼻の健康について	心の健康について かぜ・インフルエンザについて	冬の健康について 性について	保健医療制度について	コミュニケーションについて	1年の反省 学年末休業中の健康について
		保健だより発行・保健関係掲示・校内外行事に伴う保健指導（随時）・給食に伴う指導・部活動に伴う指導→											
組織活動		生徒保健委員会→											
		学校保健委員会・衛生委員会・特別支援教育委員会・防災対策委員会・ボランティア推進委員会（随時）→											

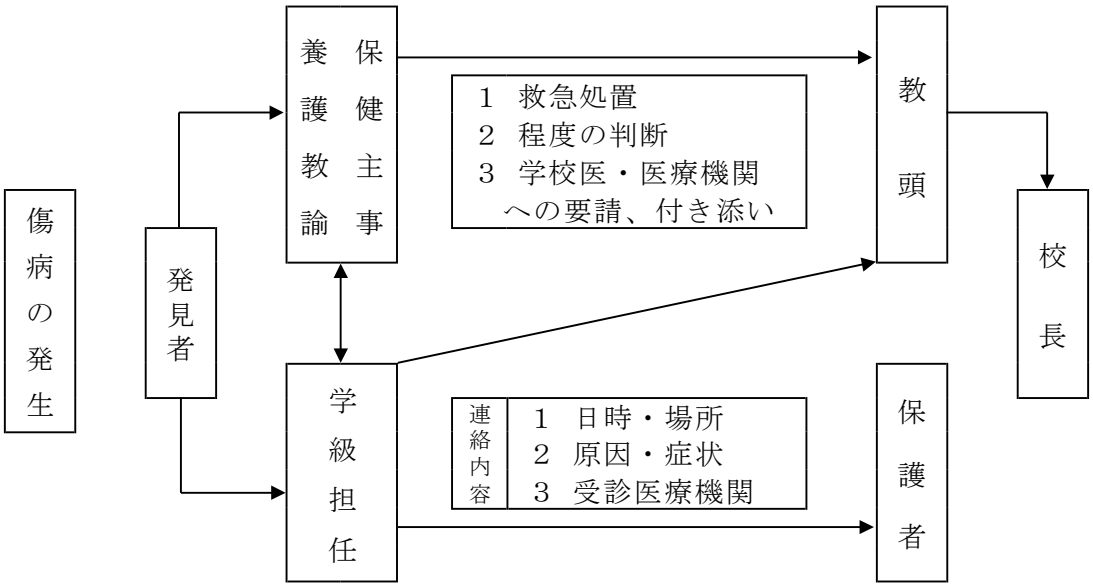
【随時実施・作成するもの】保健室薬品受払簿　保健室関係医薬品・消耗品購入簿　学校医執務記録簿（票）　保健室利用状況まとめ　災害給付金事務　感染症等に関わる報告　各種保健関係統計　各種保健関係報告書

（２）学校安全計画

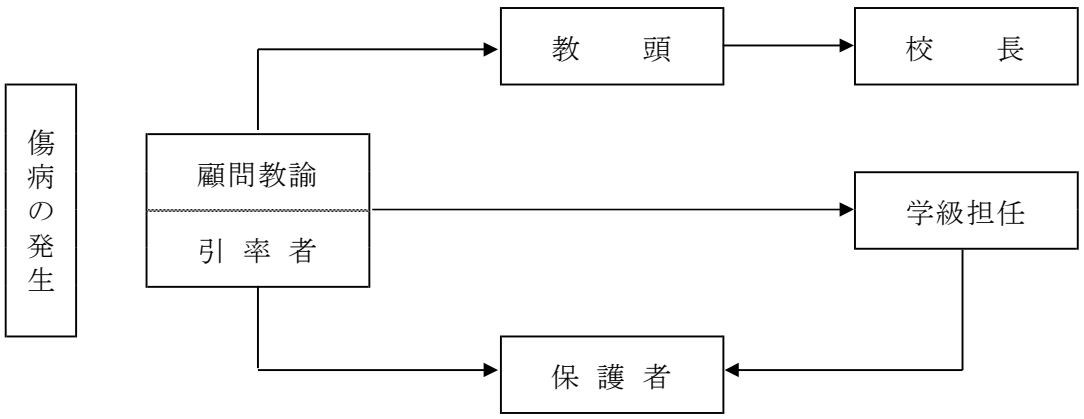
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	H30．1	2	3
月の重点	安全な登下校	交通道徳の理解	野外活動時の安全	学校行事での安全	防犯意識の向上	けがの防止	災害への備え	屋内での安全	冬型事故の理解	危険予知能力と危険回避行動	応急手当	１年間の反省
関連行事	入学式・始業式 対面式 宿泊研修 生徒総会 PTA総会 参観日 自転車通学指導 ←生徒定期健康診断→	壮行会 高体連 防災避難訓練 ハイパーＱＵ	前期中間考査 衣替え 遠足 食育指導① 衛生管理・食中毒予防講習	学校祭 全校集会 思春期教室	全校集会 赤ちゃんふれあい体験 食育指導②	前期期末考査 球技大会 終業式	職員健康診断 始業式 衣替え 防災避難訓練 インターンシップ 食育指導③	見学旅行 後期中間考査	球技大会 全校集会	全校集会 食育指導④ 卒業考査 予餞会	スキー遠足 後期期末考査	卒業式 心肺蘇生実技講習 終業式
安全管理 対人管理	防災計画立案 通学路の確認 緊急時の対応について確認 救急体制の確認 通学状況確認 アルバイト調査 自転車点検 学年末休業中の事故状況の把握 宿泊研修に伴う安全管理		遠足に伴う安全管理 学校祭に伴う安全管理	学校祭に伴う安全管理 夏季休業中の安全管理	夏季休業中の事故状況の把握	球技大会に伴う安全管理	インターンシップに伴う安全管理	見学旅行に伴う安全管理	冬季休業中の安全管理	冬季休業中の事故状況の把握 スキー授業に伴う安全管理	スキー遠足に伴う安全管理	卒業式に伴う安全管理 学期末休業中の安全管理 今年度の学校安全に関する評価反省 新年度学校安全計画立案
	登校時立番指導・校内外巡回指導・校外学習時の安全管理・給食に伴う安全管理・部活動に伴う安全管理・学校訪問者の記録											
安全管理 対物管理	自転車点検	水質検査 空気検査 花壇整備	体育施設用具点検	大掃除	大掃除		水質検査 大掃除			照度検査		照度検査
	校舎内外日常安全点検・防災点検						**降雪に伴う安全点検・校舎周辺の除雪**					
安全教育 安全学習	**実験器具・試薬等の使用（化学・物理・生物等）** **体育における服装・授業中のけがや事故の防止・健康管理・体育施設の使用（体育科・保健体育科）** **包丁・ガスコンロ・調理器具の使用及び安全点検（家庭科）** **はさみ・カッターナイフ・彫刻刀・接着剤等の使用（総合的な学習の時間等）**											
安全教育 安全指導	登下校中の安全について 自転車の乗り方について	防災避難訓練について（災害） 交通安全について	野外活動での安	夏季休業中の安全な行動について		不審者について	防災避難訓練について（津波・原子力） 災害への備えについて	火災予防につい	降雪時の安全について 冬期休業中の安全な行動について	冬のスポーツに関わる安全について 家庭学習期間中の安全な行動について	災害時の安全な行動について スキー遠足での安全について	心肺蘇生法について １年の反省 学年末休業中の安全な行動について
	校外行事に伴う交通安全・校内外行事に伴う安全指導・給食に伴う安全指導・部活動に伴う安全指導・校内外巡視　（随時）											
組織活動	防災対策委員会・学校保健委員会（随時）											

（３）傷病発生時連絡体制

Ⅰ　平常時



Ⅱ　休日等の部活動時（練習・大会）



連絡手順

1　顧問・引率者は直ちに救急処置を行い、必要に応じて医療機関で受診させる。
2　速やかに保護者に連絡する。
3　状況を学校（校長・教頭・学級担任）に報告する。

23　防災計画

重　点	1　日常の管理責任区域の点検保安に徹する。 2　定期点検と安全指導に徹する。
月	行　　事
4月	防災自主点検・ボイラー点検・消防署防火査察・電気保安点検・防災対策委員会
5月	防災自主点検・ボイラー点検・電気保安点検・第1回避難訓練・防災対策委員会
6月	防災自主点検・ボイラー点検・電気保安点検・重油タンク等危険物点検
7月	防災自主点検・ボイラー点検・電気保安点検
8月	防災自主点検・ボイラー点検・電気保安点検
9月	防災自主点検・ボイラー点検・電気保安点検・防災対策委員会
10月	防災自主点検・ボイラー点検・消防署防火査察・電気保安点検・第2回避難訓練
11月	防災自主点検・ボイラー点検・電気保安点検
12月	防災自主点検・ボイラー点検・電気保安点検
H30 1月	防災自主点検・ボイラー点検・電気保安点検
2月	防災自主点検・ボイラー点検・電気保安点検
3月	防災自主点検・ボイラー点検・電気保安点検
備　考	第1回避難訓練は避難、配置、防災器具使用法など。 第2回は地震・津波による避難訓練等も実施。 防災自主点検は、毎月21日とする。

24　関係団体役員

（1）ＰＴＡ

役　職	地　区	氏　名
会　長	寿　都	宮　本　良　雄
副会長	寿　都	長　尾　隆　之
〃	寿　都	田　中　　忠
〃	寿　都	髙　山　　忍
〃	寿　都	藤　田　雅　一
〃	学　校	澤　田　慎　也
会計監査	寿　都	齊　藤　理　香
〃	島　牧	藤　井　里　美
事務局長	学　校	富　永　　学
事務局次長	学　校	佐　藤　育　子
会　計	学　校	永　江　英　樹
事務局員	学　校	清　原　　薫
〃	学　校	宮　川　明　子
〃	学　校	土　永　和　代
〃	学　校	清　水　　啓

（2）白鴎会（同窓会）

役　職	氏　名
名誉会長（校長）	澤　田　慎　也
会　長	早　瀬　良　樹
副会長	中　山　雄　一
〃	佐　藤　隆　一
〃	南　波　恭　平
〃	田　中　みゆき
監　事	森　林　義　春
〃	齊　藤　理　香
書　記	梶　　雅　之
事務局長	富　永　　学
会　計	永　江　英　樹
事務局員	土　永　和　代
〃	清　原　　薫
〃	宮　川　明　子
〃	南　　隆　司

（3）教育支援協議会

役　職	氏　名
会　長	宮　本　良　雄（PTA 会長）
副会長	澤　田　慎　也（校　長）
〃	他　ＰＴＡ副会長（２名）
会計監査	齊　藤　理　香（PTA 会計監査）
〃	藤　井　里　美（PTA 会計監査）
事務局員	富　永　　学（教　頭）
〃	永　江　英　樹（事務長）
〃	佐　藤　育　子（教務部）

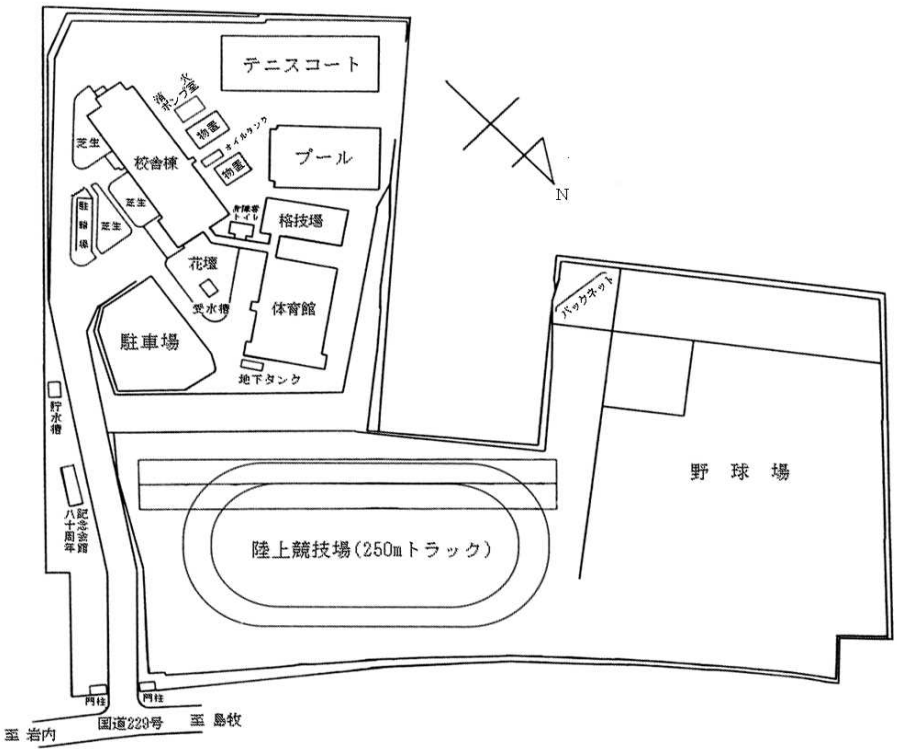
（4）学校評議員

氏　名
宮　本　良　雄
西　　弘　美
今　江　章　宏
山　岸　雅　巳
川　岸　節　男

25　校舎配置図・校舎平面図

（1）校舎配置図

敷地面積（㎡）	
校舎敷地	47,348.93
住宅敷地	3,718.79
合　　計	51,067.72



（2）校舎平面図

建物面積（㎡）		
校舎棟	校　　舎	3,348.71
	体 育 館	951.57
	格 技 場	310.10
	渡廊下・身障者トイレ	111.62
	小　　計	4,722.00
物　　置		58.32
物　　置		38.36
八十周年記念会館		124.20
プール管理棟		63.00
消火ポンプ室		7.62
受 水 槽 室		33.50
合　　計		5,047.00

